京城日報

朝刊と合せて十二頁

本紙定價 一部金二錢 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月 [illegible] 六ヶ月 [illegible]

廣告料 五號活字一行金 [illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 [illegible]口政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

列强大戰亂電報

▲土勃協約成立調印

土耳其勃牙利間の協約成立し調印を了せり此れに據れば勃國は匈牙利のオルショワ(多瑙河の匈牙利より羅馬尼に入る國境に在る要地)より勃國のウイディン(勃國の西北隅に據る要地にして多瑙河に沿ひ匈牙利のオルショワを南に距る二十五哩弱)を經て獨軍の通過を許し必要と認むる時は希臘羅馬尼攻撃を支持す可き義務を負へるなりといふ(紐育發)

▲突破難し

露都來報に曰く、獨軍はドウインスク、ウイルナ鐵道線を横らんと試み居れるも其目的とせるスウエンチアニー攻擊運動を有利に發展せしめ得可しとは思はれず敵の兩側面即ち北部のドウインスク、ウイルナ線及び兵力薄弱となれる南部の戰鬪線は中央線より增援を受け窮屈となれり南部線に於ては最近墺獨軍の敗北する以前までに五十哩以上の兵力を有したりと信ぜらる(倫敦發)

▲墺軍撤退

羅馬來電に曰く墺軍はトレンチノを撤退し居れり墺兵は伊太利の家屋財產を破壞せるも墺太利に同情を表せる伊太利人民の財產を破壞せず(紐育發)

◎米國工場と獨逸

獨逸政府は獨逸新聞中に米國の軍需品工場を破壞せよとのビラを入れ之を米國に送りしは熱せる國民の行爲なりとし新聞社の知る所にあらずと言へり(紐育發)

◎未曾有の預金

大阪の金融緩漫にして日本銀行支店は二千萬圓といふ未曾有の預金を見るに至れり(大阪特電)

◎職工爭奪起る

露國軍器注文に應ずる爲め砲兵工廠民間職工所繁忙の爲め此の間に職工の爭奪起れり(大阪特電)

◎軍需品と米商人

露國より日本に對し軍需品の大注文來れるは米國商人の暴利を貪ぼれるにより露國政府の信用を害せしに因ると(大阪特電)

◎黄海々戰記念日

十七日は日淸戰爭黄海々戰記念日として旅順海軍にては同日午前九時より要港部官邸及防備隊にて記念式を行ひたり當時海戰に參加せし軍艦千代田は今現に旅順に碇泊中なり又中村要港部參謀長は當時の橋立艦第一分隊士にて此記念日に際し往事を追懷し一場の感慨談を爲せり(東京特電)

◎立花總長

立花警務總長十七日午前五時四十分京城より來釜直に連絡船壹岐丸にて東上(釜山特電)

東京發別電

◎大禮儀式の時刻

來る十一月十日即位御大禮當日の時刻左の通り御決定在らせられたり

一即位禮賢所大前の儀 (午前九時)
一同 紫宸殿の儀 (午後二時)
一同 萬歳三唱 (午後三時)

◎大規模の兵器製造所

十七日開會する閣議に附すべき兵器製造に關する具體案は資本二億三千萬圓の民營製造所を新設し小銃一個年三十萬挺を製造するの設備を爲し露國の注文供給後は恰も獨逸のクルップ銃砲會社の如からしむべしと

◎軍事調査會

海軍省にても陸軍側に倣ひ近く軍事調査會を設く可し

◎建艦費剩餘

軍艦建造費單位遞減の爲め扶桑建艦費中三百萬圓の剩餘を來せり

◎獨勃協約成立

獨勃協約成立し勃牙利は獨軍の國內通過を認容せり

◎露軍ガリシヤ奪還

ウイルナ方面に於ける露軍は軍器彈藥の充實を得て獨軍の鐵道遮斷を阻止せるのみならずガリシヤを奪還し軍氣大に振へり

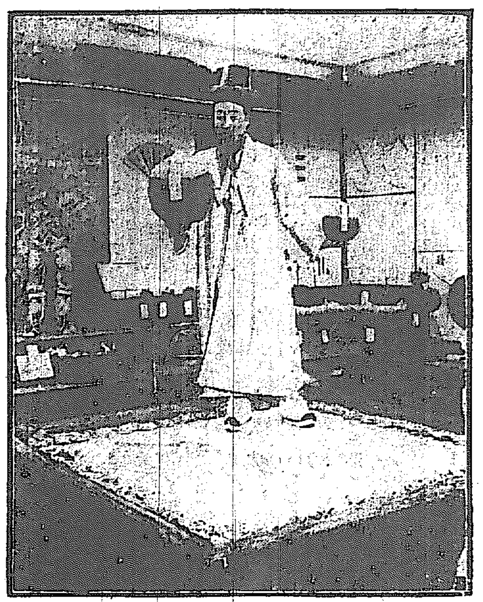
朝鮮大共進會

▲共進會委員會

共進會委員會は十七日午後二時より共進會事務所會議室に開催、持地、兒玉、山形各係長以下各委員等參列し諸般の事項に就き打ち合せの後午後五時散會したり

▲觀覽順序 便利なる道筋

共進會場觀覽の順序は大體左の



忠淸北道々勢一班 ─共進會審勢館─

方法による方便利なりと

一、第一號館、二、東洋拓殖株式會社特設館、三、畜產館、四、養魚館、五、鐵道館、六、審勢館、七、第二號館、八、參考館、九、營林廠特設館、十、機械館、十一、教育實習館、十二、館外出品(第一、二、三、四第六部出品)十三、美術館、十四、水產分館、十五、農業分館、十六、博愛館、十七、參考美術館(外二分館二個所)十八、印刷寫眞館、十九、觀測館、二十、賣店其他各種興行物

▲赤十社員觀覽

日本赤十字社朝鮮本部の大會に出席す可き約六千人の入場者に對しては共進會觀覽券の割引を爲す筈にて此程專務幹事より協贊會宛交涉ありたるが觀覽は十月二、四の兩日也と

▲艦隊將校觀覽

第二艦隊司令官以下三十五名は十九日正午共進會を觀覽する筈なれば京城協贊會にては當日一同を慶會樓上に招待し茶菓の饗を爲すべしと

▲全北各校觀覽

全羅北道にては左記の日程により本月中管內各公立學校をして觀覽をなさしむべしと

	人員	着日	滯在日數
全州普通學校	一八	一日	三日
茂朱同	二七	十日	三日
珍山同	一〇〇	二日	三日
群山尋常學校	六〇	廿二日	三日
同小學校	二五	廿九日	三日

▲協贊會投書函配置

京城協贊會にては協贊會に於ける場內の設備及び各種營業、係員取扱上の缺點等に就て何人と雖も心附きの點は一般より投書に依りて意見を徵することゝなり十七日より投書函を各所に配置せり

◎帝國軍人後援會支會 朝鮮に設置す

帝國軍人後援會にては今回朝鮮に支會を設くることゝなり九月六日附を以て伏見總裁宮殿下より山縣政務總監に對し同朝鮮支會總長を囑託、宇佐美、立花兩氏に對し同副總長を囑託、小林豫備砲兵大佐に對し同主幹を囑託する旨通牒ありたり追て各道に支部を設け趣意書並に會員の募集を發表すべしと

◎定例長官會議

十七日は定例長官會議當日とて午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、寺內總督、山縣政務總監以下各部長官局長、立花警務總長代理山形大佐、石塚長官代理中村技師等參列し通常政務に就き協議打合の上正午散會す

◎商議役員會開會

京城日本商業會議所にては十七日午後七時より役員會を開き內鮮兩會議所合併に先だち現在の日本人商業會議所存廢の善後策に就て協議せり

◎立花總長東上

警務總長立花小一郎氏は嚴父危篤の電報に接し十六日午後九時南大門驛發列車にて東上せり

■共進會入場者 十六日(水曜日、晴)

內地人	三千九百九十五人
朝鮮人	一萬二千六百四十八人
支那人	八十一人
外國人	三十二人
合計	一萬八千五百五十九人

◎下關視察團と山口縣人會

入京中の下關視察團山口縣人會一行は各所に於て大歡迎を受けつゝあるが十七日午後七時よりは更に京城官民有志の發起に係る山口縣人會懇親會に出席すべく會場は南山町巴城館なりと

雜報

◎愛婦役員入京

愛國婦人會副會長濱尾作子夫人、評議員伊集院春子夫人、第一部長三橋勝到氏等は二名の事務員並に侍女を伴ひ閑院宮妃殿下御先發として二十四日東京を發し二十六日午後九時南大門驛着汽車にて入京京城ホテルに投宿の筈なるが古市幸子夫人は亦個人として一行と共に入京す可く一同は京城に於ける本部總會に出席の後十月七日平壤に開催の赤十字社、愛國婦人會支部總會にも參列の筈なり

◎愛婦會役員會

愛國婦人會朝鮮本部にては十七日午後二時より本部會議室に於て常務員會議を開き總會に關する諸般事項を凝議し午後六時散會したり

觀覽團消息

▲京城三興普通學校百十三人 十六日觀覽
▲同私立普通學校三百二十二人 同上
▲櫻井小學校四百九十一人 同上
▲仁峴普通學校百十二人 同上
▲淸州普通學校三十八人 十七日午後入京
▲海州養蠶傳習所七十二人 十六日午後鈴木教師引率して入京
▲[illegible]郡五十六人 同日入京
▲黄州郡男七十九人女四十八人 同上
▲靑陽郡五十七人 同上
▲横城、原州兩郡百三十八人 陸路入京
▲忠州郡九十七人 同上
▲江界郡五十六人 十七日午前入京
▲保寧郡六十四人 同上
▲始興郡七百人 同上
▲長湍郡五十九人 同日午後入京

◎森川辯護士歸鄉

過般高松裁判所に召喚され其後無事歸京せる辯護士森川源吾氏は今回母堂の希望に從ひ兩三日中に鄉里滋賀縣に引揚ぐる事となりしに付き友人知己等十五日午

人事消息

後七時千代本に送別の宴を張りたり

▲李堈公殿下 十六日夜發京
▲立花小一郎氏(警務總長) 自邸は東京府下豐多摩郡代々幡村字代々木三百番地
▲安原騎兵隊長(大邱第二聯隊長) 十八日新任披露宴を張る
▲鈴木武太郎氏(東京開成學校長) 十六日仁川へ
▲中島眞雄氏(盛京時報社長) 入京中の處十六日安東へ
▲河口門助氏(山口縣技師) 十六日入京山本旅館へ投宿
▲ダブリユ、エル、ワトキンス夫人(英人) 十六日夜內地より入京朝鮮ホテルへ
▲佐藤榮三氏(谷山府總務官) 行政事務打合せの爲め近日中入京の筈
▲坂出鳴海氏(技師) 來る廿二日午後七時五十分南大門發門司より宮崎丸にて渡歐の筈
▲森文之進氏(鎭海灣要港部副官兵少佐參謀) 鎭海灣市街地視察要塞視察及び慶南地方に於ける物資調査の要務を帶び十六日午後釜山發廿五六日頃歸任の筈
▲吉田大尉(第一師團參謀) 廿四日より施行の豫定なる北鮮部聯合秋季演習視察の爲め十八日午前九時三十分釜山發列車にて元山に向け出發の豫定

南言北語

十八日の午前に仁川港頭を飾る浮城の精鋭は戰艦鹿島に三笠に肥前に而して一等海防艦周防と他に驅逐隊も來る▲司令官は日獨戰爭で有名な名和提督である▲鹿島は英國製で一萬六千四百噸十八浬半三笠も出生は同じ英國で一萬五千二百噸十八浬、肥前は米國製で一萬三千七百噸十八浬、周防は露國製で一萬二千六百七十四噸で十九浬▲彼女等の歷史は何れも戰史上に殊勳を輝かして居る▲特に三笠は日露戰爭當時東鄉司令長官の旗艦であつて、此一戰にありとの千古不滅の信號旗が飜つたのも其大檣頭である▲胸中既に必勝の計なつて莞爾敵の三十八隻の大艦隊を睨んで長官以下の幕僚が戰機を待つた司令塔も其處にある▲當時祖國の爲に旅順を衞つて三笠の率ゆる戰艦隊に抗し再三我勇敢なる水雷艇の攻擊に遭ひ這う〳〵の態で旅順港內に逃込み▲餘命を繋いで居たボベーダ、レドウキザンの兩艦の名は未だ諸君の記憶にあるのだらう▲而して明治三十七年十二月我陸軍の重砲の爲めに旅順港內で擊沈された此の二艦が即ち此の肥前と周防で肥前がレドウキザン、周防がポベータ▲露國にあつた時の兩艦は餘り香しい歷史もなかつたが我海軍の手に渡つてからは大に其の名譽を發揮する事が出來た▲日獨戰爭の時灰泉角やイルチスや其他の靑島防備の砲臺に向つて巨彈を飛ばして沈默せしめ▲主として攻擊の大任に當つたのは彼女である▲奮鬪能努めて敵膽を寒からしめたのも彼の甲板上に輝て居る巨砲である、鹿島は日獨戰の際には遠く外洋に遊弋して功勳も亦威大な艦である▲今是等名譽の諸艦が山の如く城の如く仁川港頭に其の威容を輝かして共進會の盛況を添る▲此の光榮に浴する內鮮人は更に大に敬意を表して可なりだ

家屋敷及田畑山林の所有者は是非とも一本を購へ

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著

朝鮮不動產 商業 登記申請書式並心得

紙數三百六十頁 定價金八十五錢 郵税金六錢

●附錄 朝鮮不動產登記令、登記法、同施行規則
●殘本少し……賣切近し……速に御申込あれ……

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮總督府

一木材參萬六千六百六才外賣拂購買
右競爭入札ニ付ス詳細ハ九月十八日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府掲示ヲ見ヨ

購買入札公告

一集配鞄墓口八百貳拾個
右詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正四年九月十七日
朝鮮總督府遞信局

商業登記公告

朝鮮勸農株式會社監査役全部任期滿了ノ處左記ノ者當選大正四年九月七日就任シタリ
山口縣阿武郡小河村第九百九拾壹番屋敷 小河源吉、同縣大津郡日置村第四百拾八番屋敷 中野繁藏、同縣厚狹郡厚南村第百武拾六番屋敷 三隅彥介
右大正四年九月拾五日登記
京城地方法院

購買入札公告

一用紙帳簿皮銅複銅線 四廉
右詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正四年九月十八日
朝鮮總督府遞信局

十月號 (顧問)高島平三郎先生 (毎月一回)

コドモ

日本一 極最も教育的面目ある繪雜誌
子供を愛する家庭にはなくてならぬ讀物なり

◎定價一冊金拾錢郵税五厘 六冊郵税共金五十八錢 十二冊郵税共金一圓十錢(前金)
◎最寄書店になくば本社へ御申込あれ御注文は振替貯金最も可

東京小石川林町七十九 振替東京二七九六三 コドモ社 電話番町一八一六番

鷲印ミルク

健康の堡壘

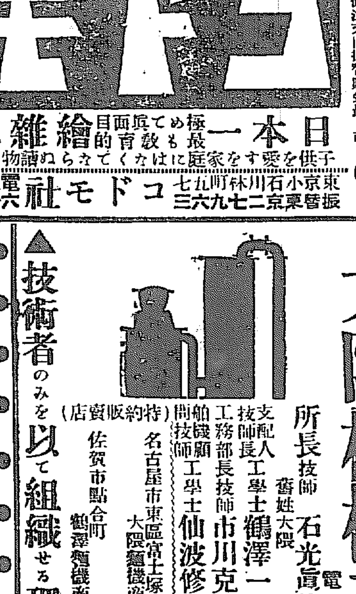
▲技術者のみを以て組織せる理想的工場▼

大阪機械工作所

大阪府西成郡鷺洲町大仁一六五(阪神電車北大阪線大仁新道停留所北入一丁) 電話土佐堀二七八九番

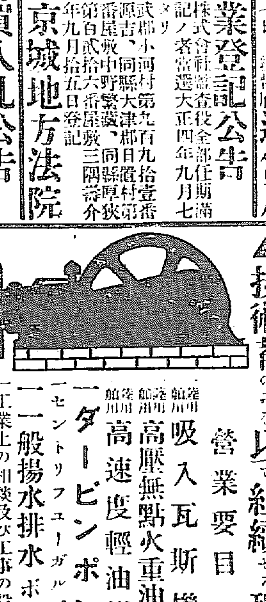
所長技師 石光眞俊
支配人 工學士 鶴澤一作
技師長 工務部長技師 市川克己
舶用機關技師 工學士 仙波修三

(特約販賣店) 名古屋市東區富士塚町 大隈鐵機商會 佐賀市點合町 鶴澤鐵機商會



▲技術者のみを以て組織せる理想的工場▼

營業要目
吸入瓦斯機關(陸舶用)
高壓無點火重油機關(陸舶用)
高速度輕油機關(陸舶用)
一ターピンポンプ(セントリフューガルポンプ)
一般揚水排水ポンプ
一工業上の相談及び工事の設計監督



鐵道員養成講義錄

本校卒業者は相當鐵道員として各鐵道に直採用せらる

▲見本附規則郵券二錢要す▼ 東京神田區仲猿樂町 大日本遞信鐵道學校

營業科目
靴用革 各種紐革
馬具用革 椅子張革
鞄用革 毛皮 蹤
學生靴 註文靴各種
革具 背囊

朝鮮永登浦 朝鮮皮革株式會社
朝鮮京城南大門通り(大廣橋畔) 朝鮮皮革株式會社販賣店 電話一〇八二番

□學生團の共進會觀覧 ―十七日第二號館前所見―

國際産業博物館こして保存せよ

大共進會を觀覧したるゴルドン夫人の感想(早稻田大學教授ゴルドン夫人)

嚢て金剛山下温井里に避暑中なりしゴールドン夫人は十三日入京景福宮の共進會を觀て曰く、共進會は妾の豫期したよりも立派に整頓して居ます、これは一時的の共進會として見るよりも寧ろ國際産業博物館―インターナショナル、インダストリアル、ミユージアムとして保存されたいものと思ひます、從前朝鮮に於ては種々なる歴史的の參考品だとか建物などが廢頽のまゝに遺棄して顧みられず識者は非常に殘念に思つてゐられたやうですが總督政治と共に總てこれ等の保存が圖られ殊に這回共進會場に充てられた景福宮の建物が、古きむかしの面影を遺すべく、保存され修理されたといふ事は非常に悦ばしいことでございます、又單に之を共進會として見ましても餘りに出品が整頓し且つ精密に過ぎて寧ろ出來過ぎたと申しても差閊へございません、殊に五十萬圓の巨費をかけられた會場を僅々六週間で閉鎖するこは如何にも殘念なことであつた、せめて其の全部が不可なければその大部分だけでも始政記念の陳列館として遺されたいものと思ひます、左樣したならば内鮮人は申すに及ばず朝鮮を訪れる外人なども多大の趣味を以て數日間此處に足を停めるでありませう、加之ならず陳列館として永久に公開さるゝ事となれば若い人達の教育上に裨益するところが尠くないと存じます、これは獨り歴史家の一家言のみでなくパブリック、オピニオン實論でございませう、又共進會で特に嬉しいのは總督が個人で美術館を設けられたとでございます、館内の出品はわれ〱が大變な時日を費さねば朝鮮に於て見る可く困難なるものばかりであつて、殊に慶州石窟庵の佛像などは此上も無い參考品でございます、併したゞ妾の遺憾なのは内地人及び朝鮮人の多くが此の總督の特志なる試みにつき或は氣附かないで過ぎる人が多くは無いかを恐れるのでございます

家庭博覧會 愈夜間開場

家庭博覧會はその内容が廣く知れ渡つて來ると共に觀覧者が非常に増して晝間だけでは十分見られないから夜間も是非開會せよとの希望が續々あります、そこで此の最もな諸君の御希望に副ふべく愈々十八日から**夜間も引つゞいて開場**する事になりました、入場料は晝間と同じ、晝間から引つゞいて場内に居られる方は入場料は要しません夜の時間は**十一時頃迄**であります夜の會場の外觀は配色の妙を極めた塔身の**點滅式のイルミ子ーション**並に家根庇の無數のイルミネーションを以て飾られた美しさは更めて申すまでもなく會場内には瓦斯、電燈を各出品によつて巧に應用してありますので美しさ華かさは晝と些しも變りありません、場外の運動場には**中央に光燭の頗る強い大孤燈**を點じますので晝の如く又月清らかな下に居るが如く、四周にある賣店の燈火と相俟つて眼ろむる樣な美しさが現じ出される事でありませう、それから最一つ申上げて置きたいのは夜間開場の催されるその日から大崎紐商店の例の有名な金鶴香水の**香水噴水**が**會場の出入口**に出來て**毎日約一斗**の香氣馥郁又芳烈な金鶴香水は最新式の噴水機によつて晝夜となく入場者諸君に振掛けられます

學生團續々入場

十七日の共進會場

十七日は未明に雨降り天氣如何にと危まれたるも十一時頃より靑空次第に其翠を擴げ持つて來いの共進會日和となりたれば相も變らぬ觀客の群衆に場の内外は却々の賑ひを呈したり、殊に午前十時頃よりは高等普通女學校附屬普通學校生徒百六十餘名の來觀者あり、ついで櫻井小學校生徒の三四年生三百餘名の來るあり、黃海道の鮮人大團體及び普通學校生徒の來るありて各館各部非常の盛況を呈へたり、附屬普通學校生徒は四年は一々觀覧の場所を豫め指定したることゝて各部にて丁寧に觀覧して三二、一年生の共進會場脇茶飲所にて辨當を使ひ終りたる頃まで第二號館に在たる程の熱心さ先生の設に依ば鮮人生徒には矢張り各種の模型、圖表、繪畫最も情意を惹きたる模樣なりき櫻井校三四年生亦共進會脇にて喫食し午後も各館を熱心に觀覧して何も三時四時頃退場せり

小學生の觀察

手帳に書留めた感想

十七日櫻井校生徒三四年生共進會觀覧中手帳に記せる感想の一部を試みに記さんに曰『爲めになるものは鐵道部でした第一號館の綿の木、鯨、鰐、あじか、てふざめ、をつとせい等珍しいものでした、また鑛山の石炭を掘る穴の中を見てをどろきました、鐵道館では汽車に乘つて旅行するやうな氣がしました、第二號館では造花や編物が綺麗でした』又曰く『水原の森林の模型が綺麗でした、金剛山は靑々として美しいところでした、大きな章魚や鯛の大きいのや蠶の蛾が卵を產んだのを見ました』と一生徒をとらへて何が一番面白かつたと聞けば曰く『機械館の瀧だ』と『あの水は何時も減らないんだよ』と一人かつける

十八日より夜間開場 家庭博覧會

▲二三日前から赤の帽子、紺の先も紅の案内係が共進會場の所々に立つてゐて叮嚀に觀覧者の質問に答へて居るのは便利此上ない▲昨日も關門日々主催の觀光團を訪れて行つたら熱心に探して呉れた▲演藝館内の二階への階段にダツクを敷いたので踏み心地よく下駄穿きの人でも足音が餘りせぬのは大出來▲平南協賛會の休憩所では二人の妓生が席園を扇子や手切に捕く[illegible]ので大人氣何時も見物の山は[illegible]▲東亞煙草の休憩所の設備は池畔に位置して多くの客を呼んでゐるのに對して餘興場に無料屋とした風流な休憩所を出してゐる廣江商會のそれには二美人が控へて接待するので之れも大持▲紙屑や反古入れの箱が所々にあるのに時々場内に屑紙等捨てる人がある御注意召され▲十六日閉場間際に門口で五人の老人組が手を振り洋傘を振つて一老婦人を呼んでゐたが耳が遠いかして知々聞えぬ、一人が飛んで行きかけた時やつと氣が付いて此方に振り向くと五人揃つて手を拍つて大笑ひはよかつた▲鐵道館所で見物に行く一人の四十恰の紳士が係員の人を捕へて熱心に鑛石の說明を求めてゐたが、一技師は親切に彼方に走り此方に走り數へてゐた、同紳士は漸くして一時間餘りも繰り返し〱觀覧してゐた▲光化門前の寄物預所は切符賣場を離れるやうに爲つたとても元の切符賣場近では客に迷惑し切れなかつたものと見える▲光化門、迎秋門とも自轉車預所のあるのは有難いが何れも日本語の解らぬ鮮人で一寸面倒なことはわからぬので困る▲共進會の賣店で賣ぶ人の多いとは勿論だが市中の野菜や肉類の高くなつたのは閉口だと或人が語つてゐたが偉代ら賃金定額より高く食る者が時々あるさうだ▲ボツ〱共進會場内にも怪しい奴が徘徊するのが警備係の話題に上つて居る、觀覧者も十分の注意が必要

□家庭博入場半額券

廣江商會の新趣向

家庭博覧會は日に〱其盛況を誇つて居ますが廣江商會は今回家庭博觀覧者の便を計り『しらぎ』『ふくとく』『百圓』『カブト』等の卷煙の空袋と家庭博の入場半額券を引換へる事にしました引換の方法は『しらぎ』『福德』の空袋十個と家庭博半額券一枚カブト百圓ならば十五個に一枚で空袋を最寄の煙草店へ持つて行けば直ちに入場券と換へて呉れます、そして右半額券は軍人學生又は子供ならば一枚でよし大人ならば二枚で入場が出來る事になつて居ります

●新龍山の出火

製綿會社工場燒く

十六日午後三時五十分府内龍山靑葉町三丁目朝鮮製綿株式會社工場の一閣より火を發し工場一棟を烏有に歸せしめ同四時卅分頃漸く鎮火せるが原因は製綿機械の磨擦に起因する由

市內小學校全部を開放す

大共進會見物に入京する地方小學校生徒を斯く驩迎す

古雅掬すべき京城景福宮裡に華々しき文明の縮圖を語る始政五年共進會は開會以來日に觀客を吸收呑吐して益々盛況を呈してゐるが昨今に至つては内外各地方からの團體見物も漸やく増加して來たが此の中には朝鮮各道から來觀すべき學生諸君も尠くない樣だこれに就いて鈴木鍾路小學校長は市内旅舘の混雜を想ひ幾分なりとも學生諸君に利便を與へたいといふので府舍の開放を計畫し既に協贊會の手を經て全道の各小學校に通知狀を發した三浦同校訓導は語つて曰く目下吾が

▲朝鮮には三百に近い小學校があります夫れ等の學校からは今回の共進會へ參觀する生徒も決して尠い數ではありますまいが何しろ市内の旅宿も取り込むでゐる際ですから校舍の一部を開放して便益を提供しようと云ふのです教室は勿論裁縫室がありますからそれを以て充てます然し寢具の用意が無いのでそれは各自に毛布の持參を願つて置きました食事の如きも一食十二錢の實費で應ずる事になつてゐますから一日三回の食費三十六錢で一日間の滯在が立派に出來得る譯です團員諸君は血氣年少の士ですから

▲一枚の毛布で優に温かい夢は結ばれる事でせう又萬一秋冷の氣が增した場合にはストーブで暖を取る設備も致します今日迄に申込まれた學校數は既に十指を越えて居て其中でも大田公立尋常高等小學校の二百四十八名こ云ふ大團體もあります來京の時日は大抵秋季皇靈祭以後で尙引きつゞき續々ご申込通知が來る見込で居ります尙又校舍の開放といふ事も當校のみでなく西大門、南大門、日の出、櫻井の五校ですが是は會場に便利な校舍の順序に擧げたので樂部も其中に加つてゐます團體が泊つても學校の授業上に差し支へは無いかと云ふのですかそれは勿論です團員は東が白らみ初めれば一齊に起床して朝飯を濟ませ晝食を攜へて出發しますから何の痛痒も感じません御社の家庭博も是非參觀を願ひませうから其節は充分に優待して頂らかれければなりませんよ〱〱

三十陳列道競べ

□南朝鮮名物の竹細工

素晴らしい海の幸ある全羅南道

[illegible]務部内全北に相對して全南の出品がある、西側から見て行くと上部が各種の統計で矢が整然と陳列されその下が實物や模型と云ふ風に整然と陳列されて居る勸業費の統計に並んだ

▽陸産の生産力を見ると併合當時が二千七百萬圓で大正三年が三千九百四十萬圓、その陸地の生産力た土、水、林、畜、蠶、麥、棉、米と區分して一々統計が詳しく圖表に爲て居る所爭は却々綿密なものだ、同鮮特有の竹細工は本道の生産額十六萬圓を占めそのバスケットの如き製品が出てゐるが[illegible]ものがある八十五萬圓の産額を有する織物の[illegible]蝦石細工、[illegible]、二十萬圓の鹽、十四萬圓の海羅三萬四千圓の王珠貝、椎茸、牛皮、材木、陸地綿、米と一々産額と實物が一度に對照出來るのは實に調法だ(十五日夕刊水産部の記事中一億圓の産額を有する見込の貝とせしは本道水の産玉珠貝の誤である)南方中央には總面積[illegible]

▽車輪で現し、堤堰の圖表と並べて[illegible]

▽實物に米九十萬圓、牛皮九萬圓、棉花百六萬圓、石花菜七萬圓と輸出高が一つ〱記されてある、[illegible]

なれど同工場は日頃延燒し易き綿類を取扱ひ居る事とて黑煙天に冲せる時は如何になり行く事かと一時は附近の人々戰々恂々たる有樣なりしが急を聞きて馳せつけたる新龍山並に南大門詰所の消防隊の盡力にて大事に至らざりしは幸ひなりと云ふべし尙同會社の損害高は約一萬餘圓に上れりと云ふ

◎今日はズツト東の餘興場に行つて木下一行の曲馬を見た永らく[illegible]興行物を見なかつたためだらうが昔見たと云つた頃に較べると餘程進化して居る◎木下一行の演藝こ云ふ中には昔の輕業もあれば足藝もあり、若い娘達は馬にも乘れば自轉車にも乘る而して其の馬の上へ自轉車の上で藝當をやるのが進化したとも云ふ點であらう◎馬を基盤型の盤上に載せて其馬の脊で足藝をする、二輛の自轉車を走らして其上に五人も六人も乘つて際どい藝當をやる◎こゝの見物人の多くは朝鮮人で中にも地方の團體が多い、江原道の春川とか江陵とか云ふ方面の鮮人は道中興行を見たのは[illegible]てだ、見物中に哀號を[illegible]たいけしい小娘が天井から下つた撞木に乘つて色んな藝をする、此所千番に一番の[illegible]と見せて片足止め……と云ふ時など飛上つて喜ぶ〱◎演藝館の舞踊を見て何んの感興も起さず「詰らぬ」と云つた鮮人が輕業を見て感歎の聲を放つ鮮人もあるから演藝は此餘興場の樣に興頗を多くせなくてはならぬ

□□秋景色になりました□□

朝夕餘程凉しくなりました、天高く馬肥え味噌汁の味の好い季節となりました、味噌汁は日本人の食膳には缺ぐ可らざるものであります

みやこ味噌の特色

美味にして滋養に富めるここ
風味も高尚なるここ
經濟上德用なるここ
配合の理想的なるここ

他品になき特色を具備して居りますから一度是非御試味願ひ升

●電話九〇三番。二三三〇番に御用命被下候はゞ遠近多少に不拘早速御届け致します
●地方より御注文品は早速荷造發送致します

京城岡崎町
味噌製造元 醬油製造元 諸漬物問屋
嶋屋本店味噌部
電話二三三番 振替京城五七番

京城北米倉町
嶋屋市内販賣部
電話九〇三番(シマヤ)

食料品雜貨
京城旭町一丁目(電話八四二番)
食料品 果物 海産物 賣
問屋 岩城馨商店
振替口座京城(一〇〇六番)
果物 賣 南大門市場卸部

空前絶後 鬪牛
特等 金參拾錢
上等 金貳拾錢
並等 金拾錢

御待兼の慶尚南道晋州の名物たる勇壯奇拔なる鬪牛は愈々明十八日午後一時から左の處にて賑々敷興行致す事になりました如何に鬪牛が活劇場裡に立ちて勇猛壯烈なるか御實見の上御批評の程願上升
京城明治町(東拓會社前空地)
鬪牛興業元

印材製造販賣並に印章彫刻 京城鍾路壹丁目 千代田號
電話九八七番 振替口座九八七番
今回左記の處へ支店開設致候に付小店同樣御別の御愛顧偏に希上候
御印章、版木、ゴム印彫刻並に名刺印刷
京城本町一丁目(郵便局前) 千代田號支店
電話一三一八番
追而本支店共萬年筆修理仕り候條御用命願上候

入院隨意(普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目(鈴木醫院跡)
小林醫院
醫學士 小林千壽
電話六[illegible]二番

●京城基督教會(南大門内) 於て堀田得俊師の『三等道德』及び本山特命布教師酒井俊正の『信仰の主』[illegible]

十七日及び十八日午後八時より觀音[illegible]

[illegible]

天氣 晴れ後曇り 九月十八日 十七日午後六時發[illegible]

日出 六時十六分 日入 六時四十分[illegible]

●青年會講演● 十八日(第三土曜)夜八時より本町三丁目淨土宗開教院に
●觀音講● 若草町曹洞宗別院にては本日の熏風會參詣は觀音講の爲休會せり

忠南の苧布
朝鮮の本場

▲苧布の今昔 東洋に於ける苧布の本場は朝鮮にして朝鮮に於ける苧布の本場は忠淸南道韓山地方なり韓山苧布の起源及び沿革に就ては往古濟州島に於て野生の苧蔴を採りてこれを紡織したるに始まり其品質尚佳にして優美輕快にして強靭夏時の衣服としては之れに超ゆるものなきを以て忽にして本土に傳り長城及長古阜泰仁羅州大野小苧驛の發育地を經て韓山に入り始も其水質に適し白く最も適當なるを以て此處を根據とし附近數郡に擴がりたるものゝ如く同郡幾多の人々により練磨研究の結果は終に精巧なる特有名產を生ずるに至り殊に約二百年前李朝宮中の御用品となるに及びては名聲嘖々として十三道に普く凡そ上流の人士は夏時韓山苧布を着せざるを以て恥となすものゝ如く需用從て增大し其の產額年々二十萬疋を下らざりき然るに何れの世何れの地と雖も一の流行品起れば從て模造品の競爭を來すは數の免がれざる所にして韓山苧布も亦此の例に洩れず約二十年前より支那麻布の侵入跋扈に壓迫せられ其の年產額も終に十萬疋を下るに至れり其品質亦漸次惡變せり

▲苧布の改良 併合以來當局者は專ら此の特產物の復興改良を企畫し或は專門技術者を置きて紡織の改良を指導せしめ或は日本種を配付し地質堅牢なる經濟的の品を生產して現時の需用に應ぜしめ或は尺幅を一定して取引の道を開きつゝあり尚ほ保護獎勵に努めたる結果漸く頹勢を挽回し年產額十五萬疋價格四十五萬圓を算するに至れり

▲組合の組織 目下苧布生產地各郡に於ては當業者をして苧布組合を組織せしめ組合員に對しては原料の供給を圖ると共に織物の尺幅檢査を施して品質の改善を圖り現に生產品は蚊帳、座蒲團、布團地、洋服地、染絣、衣襷、袴地等なり(公州)

北行旅程
無線電信にて
神崎憲一

十六日午前十時、空は晴れたれど風強かりし、大連を放れ午後六時山東角を出れば、空稍々曇り初めたれど風凪ぎ波濤まり愉快なる旅路は一歩々々近づきつゝ行くのみ黄海洋上より遙かに無線電信を飛ばして諸兄の御健康を祈る(十六日午後七時哈爾賓丸無線電信發電)

咸南記念植樹

咸鏡南道にては今秋御擧行の御即位大典を記念すべく既に其の記念事業を計畫中にて近く具體的に發表する筈なるが之れより先き各府郡に於ては植樹を施行するに決し道廳に申達せしものは元山、文川、定平、利原、咸興の各郡なるが其他の各郡に於ても共々計畫中なり、記念植樹は永遠に之れを記念し且つ造林上多大の裨益あるを以て一般日鮮人に對し御大典の主旨に添はしむるには至極適當の事業なりと

家庭博後園に於ける女學生團

畫舫進水式
來る廿四日擧行

畫舫は已に造船を了り只鳳の彩色を剩せるのみにして廿日前後には全く竣工の豫定なるも廿日は三りんぼうに當り新造船の進水を忌むを以て來る廿四日秋季皇靈祭を卜して進水することに決せり因に當日は舊曆十六日に當り大潮なり

朝鮮新聞の美術展覽會

朝鮮新聞主催の美術展覽會は明治町元漢城病院跡にて十五日より開會せり出品物は京城諸名士の珍藏に係る書畫骨董刀劍等數百點にて一點千圓以上のもの尠からず好事者の觀覽頗る多し因に入場料は一人十錢にて何人にも觀覽隨意なりと

淸州雜信

●建築界● 警察署敷地は本町四丁目の中央に淸州名物の銅幢を圍んで千坪の地を相し家屋取毀及び地均を了りて目下基礎工事中なるが竣成期は十二月中旬なる可し其他一昨年發布されし家庭取締規則に依り改築を要す可き家屋も一時財界不振の爲延期し居たるが最近金融の小緩と共に改築に着手する者多く建築界は活氣を帶び來れり▲協贊會 淸州協贊會が外來客招致策として今夏改造せる東公園は秋コスモス等滿山を覆ひ近郊より蒐集せる歷史ある石佛は錆を生じて愈々古雅に殊に淸州電氣會社は同公園の頂上に二百燭のアーク燈を點じ廣袤四里の平野を照し錦上更に華を添へたり▲市場 氣遣はれたる農況も平年作に劣らざる事明かとなり殊に年額三十萬貫を產する淸州葉煙草は近年稀なる出來榮にて一番葉は最早收穫に著手したれば陰曆盂蘭盆前の去る十五日の市場は人員無慮一萬二千を算し取引尤も敏活に行はれたり

家庭博覽會唯一の好記念品
家庭博の繪葉書 三枚一組(三種)
▲一ノ組 御飯の食べ方、負ひ方抱き方、家庭看護
▲二ノ組 主婦室、養老室、下婢室
▲三ノ組 紳士の客間、紳士の書齋、一疊半臺所
定價は一組十錢ですが入場者に限り三割引七錢で差上ます場內で記念スタンプも押します切手も有ります

滿鮮境上より
十六日發 安東縣常置員

▲兵庫縣觀光團 服部兵庫縣知事外二十二名より成る滿鮮觀光團一行は十七日午後二時五十分著列車にて入安市內各所を巡覽し同五時より料亭スミレに於ける官民有志の歡迎に列し終つて服部知事、鹿島神戶市長及び滿川貴族院議員の三名は一行と別れ同六時三十分發列車にて歸縣の途に就き其他の一行は同夜八時三十分列車にて五龍背へ赴き同地溫泉場に一泊の上奉天へ向ふ可し

▲平北署長會議 平安北道警務部にては管內の憲兵隊長及び警察署長を召集し來る二十一日より四日間會議を開く可し

▲義州大典記念 平北義州にては御大典記念事業として統軍亭を中心に一大公園を設置す可く今回御大典記念義州公園達成會なるものを組織し金郡守を會長に、川上道長官以下官民有志二十餘名を評議員に推薦せるが既に去る十四日第一回協議會を開き諸般の協議を遂げたるが其結果經費總額五千圓は之を一般の寄附に仰ぐこととし設計も既に決定せる由

▲平北武術大會 平安北道警務部にては別項記載の際署長會議開會中を機とし來る二十四日義州に於て平北武術大會を開く筈

▲今川技師送別 今回歐洲出張を命ぜられたる營林廠業務課長今川林學士は十八日東京へ出發し來月初旬鐵路西比利亞を經て渡歐の筈に付新義州の官民有志は十六日夜同地第二線新館に於て盛大なる祖道の宴を張れり

▲鑛山紛紜事件 京義線宣川在住の鑛山業谷口與四郎の採掘に係る定州郡玉泉面なる長景金山は元來義州郡邑內面居住趙兌允の所有に屬するものにして先年谷口との間に『採掘鑛石又は販賣高の六分の一を所有者へ支拂ふ』との契約成立し爾來谷口の手に依つて今日迄該金鑛の採掘を繼續し來れるものなり然るに谷口には是迄採掘せる鑛石の全部を新潟なる某鑛山業者へ賣却し之に依つて二十數萬圓の巨金を獲得せしに拘はらず所有者なる前記趙某に對しては極少額を支拂ひしのみにて毫も當初の契約を履行せざるに依り趙某より訴訟を提起し數日前新義州地方法院支廳に於て公判開廷の結果遂に谷口の敗訴に歸したるに依り谷口は趙に對し當然四萬圓內外の金を支拂はざる可からざることとなれるが谷口現時の境遇より見れば此際四萬圓の支拂は到底困難なる可しと噂せらる

商況

東京株式特電
銘柄	十七日前場寄付	大引
日本郵船	九〇、八〇	九〇、七〇
日韓瓦斯	……	……
鐘紡	一二八、四〇	一二八、四〇
同上新株	九三、八〇	九三、九〇
本日參酒	……	……
東株第一	一五二、〇〇	一五一、九〇
東株第二	一五二、八〇	一五二、六〇
東新第一	一二六、〇〇	一二六、八〇
東新第二	[illegible]	[illegible]

東京期米特電
	十七日前場十一月限	後場
寄付	一二、九〇	……
高値	一二、五一	……
安値	一二、三五	……
止め	一二、三六	……

債券現物特電
十六日出來値段 前日との比較
東洋拓殖	……	……
甲號五分	……	……
朝鮮銀行	……	……
朝鮮瓦斯	……	……
南滿鐵道	……	……

深川在米特電
十七日	
朝鮮米	五〇、〇四七
臺灣米	五九、八七七
內國米	一八〇七、七三四

東京公債直取引
十七日出來値段		前日との比較
五分特別	九五、二〇	……
一四分	七九、八〇	
二四分	七八、九〇	
五分	九四、〇〇	

大阪三品特電
十七日前場	寄付	大引
九月限	一一〇、〇〇	一一〇、二〇
十月限	一一〇、九〇	一一〇、九〇
十一月限	一一二、五〇	一一二、五〇
十二月限	一一三、五〇	一一三、五〇
一月限	一一四、五〇	一一四、五〇
二月限	一一六、三〇	一一六、二〇

大阪株式特電
種類	掛込	十七日前場止値	同日後場寄付値
宇治川水	[illegible]	[illegible]	……
神戶電鐵	[illegible]	[illegible]	……
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	……
和歌山紡	[illegible]	……	……
合同紡績	[illegible]	[illegible]	……
攝津紡績	[illegible]	[illegible]	……
同上新式	[illegible]	[illegible]	……
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	……
大阪商船	[illegible]	[illegible]	……
日本郵船	[illegible]	[illegible]	……
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	……
東京新株	[illegible]	[illegible]	……
大阪新式	[illegible]	[illegible]	……

大阪期米特電
十七日前場	寄付	止め
先限	一二、二〇	[illegible]
中限	一二、三〇	[illegible]
當限	一二、五六	[illegible]

下關期米特電
十七日前場	寄付	止め
先限	一三、〇四	[illegible]
中限	一三、〇〇	[illegible]
當限	一三、〇〇	[illegible]

雜報
輸出綿布と支那
本邦より滿洲地方に輸出する綿布類は一箇年に於て六萬乃至七萬梱見當にて而かも之れに同地方の需要の殆ど全部を充たし居り支那の當業者は地勢其他の便宜を有しながらも是が供給を爲し得ざる有樣なりしが本年は勸業等より外交問題の行惱みに依りて日貨排斥の聲起りしかば支那當業者は之れが機會に乘じ盛んに滿洲に向けて綿布を送荷し來りて其取引高も今日迄に既に五千梱に上りたる...

綿糸の活況
[illegible]

人氣の沸騰

新高値を現出

頗る強硬の成行

平板手堅し

一錢高を齎らし

滅切氣丈

新米弗々出廻る
質槪て良好

新大豆の走物
頗る優良
八圓五六十錢見當

洋蠟頗る況好

梨は逐日低落

逐日漸落

追々亂調に傾

下關相場

田中 仁川本町三丁目 電話 五二番

各地商況
釜山(十六日の穀物)
▲正米(不味十錢安)

京城正米
京城雜穀
南大門の廻米
仁川現物市場
生魚市場
仁川期米
十七日前場
突破し九圓の關門
市場零聞
前場の激戰
前場不勢
下廻りて賣叩き一頃日の安値
靑物市場
京阪株買はる
北濱だより
商船續て高し
仁川米豆取引所
十七日の十一月限
前場	寄附	止め	高値	安値	出來高
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

平均値段
一節	九圓八錢
二節	九圓一錢
三節	九圓二錢
四節	九圓三錢
五節	九圓三錢

此邊小相場乎
値は大に警戒
防戰的買物を發
掛引戰

面小掬的買物を發し
人氣消沈
下値淋しき

演藝案內

壽町 電一〇五〇 壽館

本町 電一九一 御成座

明治町 浪花館 京山若丸一行來る

山町 電六四八 佐久良座

黃金町四丁目 電話二六三七 黃金館

櫻井町 電話八七三 大正館

黃金町 電一四三四 世界館

當會社工場出火の際は早速御駈け付け御盡力に預り御蔭を以て鎭火いたし候段難有奉深謝候早速御禮に參上可致筈の處混雜中御尊名伺ひ漏れ有之やも計り難く候に付不取敢紙上を以て御禮申上候
京城靑坡 製綿株式會社

親切叮嚀 客室完備 平壤大和町 松岡旅館 電話三〇五番

二大特長 品質卓絶 最も廉價
三田土ゴム製造合名會社製造 發賣元 大阪靱南通 飯田商店

中風(腦溢血)
腦エンボリー、半身不隨、言語澁る症、腦充血及び腦神經衰弱性疾患の自宅療法には元帝國醫科大學助手ピーエッチシー藥化學者川崎先生創製の效驗著しき專門藥あり同病困難者は京都市粟田御門三條東入川崎自療法研究所へ申込次第無料送呈す

最上 醬油 金銀賞牌受領セシ 芳香風味天下一品 川醸造場

美味なる 虫下し 最良藥 定價五錢●十錢●廿錢●五十錢
岩崎大海堂セメンソ藥子
美味なる虫下し最良藥 鷓鴣菜湯精 大阪 岩崎大海堂 本舗
主治效能 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疝熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで函入で體裁よく常用と進物に妙です

大岡政談 越後傳吉

第百五十六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

さて日野屋藤右衛門の計らひに依つて新之助とおきみとは無事に夫婦に相成りました、藤右衛門も兩人が喜びまするのを見ると宜い心持ち、機會を見て勘當の兄樣へ詫して、元々通りにしようと思つて居る、嫂さんのおさよ殿には内々で逢ひますが兄さんに逢ふ事は出來ない、其中新之助が考へたのは一旦どうも己も身を持崩して今更屋敷に歸つた處で仕方がない、藤右衛門にも恩になつて居る重い大小を差して歩くより此處は一つ宗旨を替へて侠客にならうといふ氣になりました、新之助は前申し上げる通り男が美い上に氣質が宜いから自然身内の者が兄貴々々と立てる、人間が怜悧で腕が出來て居りまして物柔らかで女に惚れられる位だから何處となく親切で、學問があつて錢離れが宜い、申分のない男、其上部屋歩きをして居るから盆蓙の上が明るい初めは藤右衛門も止せといつて意見もいたしましたが當人が何でもなりたいといふので仕方がないから幸手へ連て歸つて家に置く、追々新之助の名が揚つて男が美いから業平の新之助といはれる、又白菊の新之助ともいふ、之はおきみの事が評判になりましたから安くない男だ、光陰矢の如く早くも六七年の年月を送る、今では日野屋の若親分白菊の貸元といつて飛鳥も落るやうな勢ひ、ソコデ藤右衛門もコリヤア仕方がない、どうかして兄樣に詫をして多田の家督に立てたいと思つたが今ぢやア立派な顏になつて當人も此方が性に合つて居る樣子、己も子はなし兄弟はなし幸ひだからこの家をソックリ夫婦に讓つて來年になつたら隱居しようと思つて居る、乾兒の連中も大親分もいゝが若親分は別段、いゝ貸元が出來た、日野屋一家は日の出の勢ひになつたと喜んで居ります、然るに好事魔多しとやら圖らず茲に一つの間違ひが起つて新之助が土地を離れなければならない事になつた、といふのは幸手から二里ばかり距れて居る鷲の宮といふ處に居る、鷲の宮の大助といふ博奕打がございます、是は俗に二枚草鞋といつて博奕打で御用聞をして居る、乾兒の百人もあつて中々盛んにやつては居りますが日野屋には及ばない、これを平常殘念に心得てどうかして日野屋にケチを付けて藤右衛門親子を縮めてしまつて繩張りを自分のものにしようと考へて居ります惡い奴で、所が享保十八年五月の事日野屋藤右衛門は濱松から出た人で亡なつた親父の二十三回忌久しく墓參をしないから墓參をして其歸りに京大阪を見物して來ようといふて新之助おきみの兩人を連れ、留守は一の乾兒の寺島の吉五郎といふ男に頼んで出掛けました、是を鷲の宮の方では聞いて喜んで居る、何か留守に間違ひを起して日野屋を潰して了はうと思つて居ります、どうもこの盆蓙の上の間違ひなどは餘り申上げて宜い事でございませんから大略いたしますが、この留守中に日野屋の乾兒と鷲の宮の乾兒と間違ひをいたしまして、親分の留守に間違ひがあつては宜くないといふので寺島の吉五郎が詫びに參りましたのを大助の方では企んでした事だから突然御用といつて吉五郎を召捕つてしまひました、之を聞いて日野屋の乾兒が親分の留守とは言作ら捨て置れないから、竹槍手槍を揃へて鷲の宮の大助の處へ押出さうといつて騒いで居ります、處へ表へ駕籠が三挺下りて駕籠から出たのが藤右衛門に新之助夫婦で 藤「己の留守に何をするんだ ○「大變でございます、親分是々斯々いふ間違ひでございます 藤「其りやア打捨つて置かれねエがまア兒も角も靜かにしろ、己が歸つて來たから靜かにしろ」と一同を鎭めて家へ入る、乾兒が ○「誠に親分の留守にこんな間違ひを起して申譯もございません 藤「それも據ねエが何しろ困つた事が出來た」此時に新之助が 新「親父さんこりやア私に任してお呉んなさい、茲で騒いで怪我人でも出來た日にやア御役人へ對して相濟みません、此始末は私が引受けて吉五郎の繩の解けるやうにいたしますからどうか私に任してお呉んなさいまし」

元祖 大徳寺燒餅 明治町天主堂通 長崎名物屋

●肋膜炎を病む方に
●水がたまつて苦む人
●水がたまらなく苦む人
ロクマクエンにて永らく病む人は淡色の液がたまり、液の中に血が交り濃汁がたまり、呼吸をすると胸が痛む、咳嗽が出る、動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病や腹膜炎に成り易いのですが未だ此病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療苑ハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の上最もヨクキク藥の自宅治療問答書を同病に惱む方に無代で差上げますから御遠慮なく申越下さい

りん病
淸潟で困る方 多年の慢性も
自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報ず
名古屋市南かじや町 武藤鳴吉

共進會に御越しの方は必らず津村にてみやげを買ふ事を忘れ給ふな
京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一〇八〇番

○有名なる アルボース
の時に必要なる時節來れり何人も必ず使用を怠る可からず

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
滿洲 五龍背溫泉
■風光絶佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにても悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありません。只世界の有りとあらゆる淋病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日の京城日報夕刊第四面を御覧下さい。
りん病ばい毒 專門藥房
京城南大門外停車場通り ドラッグ商會滿鮮本部
電話二五六七番 振替京城四六七番
本舖 大阪 合資會社ドラッグ商會
●ばい毒藥一週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●りん病藥壹週間分普通貳圓特製參圓●照會は返信券を要す

各宮家御用品

學者の創製したる。

美顏白粉

生れつき色が白いやうな白さに附く譯

一 從來の白粉より遙に色が白いからです どんな白粉とでも比べて見れば分ります。同じ白粉と言つても、美顏白粉ほど色の白い白粉はありません。

二 極めて美しい光澤があるからです。既にほんとうの白さがある處へ、此美しい光澤が加はるのですから、美顏白粉のお化粧の色艶は、態とらしい色艶でなく、眞に迫つた色艶が出るのです。

三 被覆力が特に強いからです。被覆力が弱いと白粉のノリやノビも惡く、殊に白粉の色艶を充分に現しませんが、被覆力の強い美顏白粉は、其眞に迫つた色艶の美しさを、其儘お化粧顏に現させます。

四 分子が極めて細いからです。白粉の分子は細い程ムラが無く附くものですが美顏白粉の原料には確に是以上無いといふ分子の細い原料が使つてあります斯ういふ次第で、美顏白粉は高貴の方々始め、上中流御家庭にゼヒ無くてならぬ化粧料と言はれて居りますのです

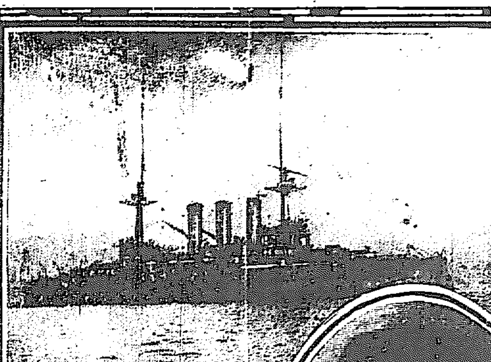
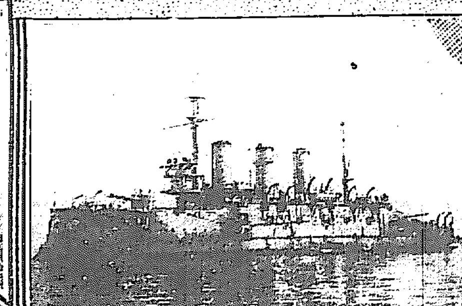
みどりなる
ひとつ草こそ
春は見し
秋は色々の
花にぞありける

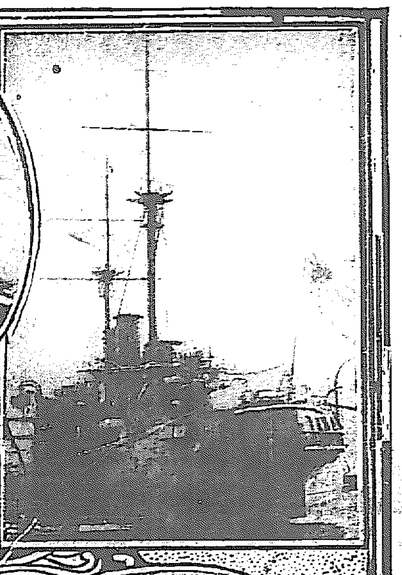
2575,239

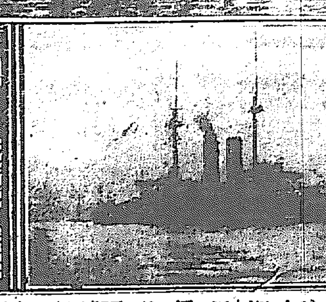
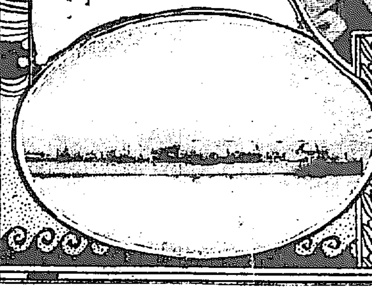
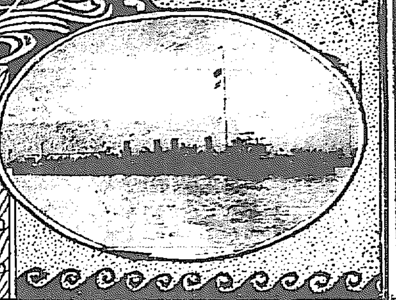
名學の美顏白粉を創製せる
桃谷研究試驗部
顧問 丹波藥學博士 山本醫學博士
專任 桃谷藥學士 小磯藥學士 齋藤藥學士

京城日報

第三版



（上右より）鹿島艦司令長官名和中將　周防艦。肥前艦（中右より）三笠艦司令官森山少將。（下右）響艦。（下左）初霜艦

第二艦隊の艨艟艫舳相啣んで來る、秋旻高く澄んで望み涯無き仁川港頭雄姿堂々として海を壓し偉觀壯觀眞に極まり無し。光輝ある朝鮮大共進會既に開會を見るの時に當り此の珍客來る、而かも是等の諸艦孰れも帝國の光榮ある戰史を飾るもの、陸上の盛擧爲めに光彩を添ふる幾何なるを知らず。滿腔の歡喜を以て此佳客を迎ふ

朝鮮開發の五年

五　財政と金融（二）

過去五年の財政

朝鮮總督府は併合後韓國政府一切の政務を承繼し、因襲せる財政を引き繼ぎ之を按排し、從來の複雜煩瑣なる行政組織を統一緊縮し、部局の廢合、冗員の淘汰等專心行政の整理を斷行し、而かも苟くも整理の餘地あらば之が決行を怠らず、以て經費の節約を計りたると同時に財源の涵養を急務なりとし、諸種の稅率の如きも概ね舊韓國政府時代の制に依り專ら稅制の整理と賦課の公平と收入の確實とを期するに止めたり。而して他方に於ては半島の開發に必要なる交通機關の完備、產業の發勵等に關する施設改善に努力し著々皆績を擧ぐるに至れり。

併合當年にして支出の甚だ紛糾せる四十三年度は之を除外し、假りに四十四年度を基礎として比較すれば爾來五箇年間に歲計の總計に於て約一千萬圓即ち二割の膨脹をなし、歲入の狀況も漸次好調となり、併合當初には經常歲出に對し常に不足を告げたりし經常歲入も大正三年度以後は經常歲出を償うて尚若干の餘裕を生じ之を以て臨時費の財源に充て得るに至れり、即ち右の期間に於ける經常歲出の增加は八百八十七萬二千六百六十九圓、約三割三分なるに拘らず、經常歲入の增加は一千五百七十萬九千百四十六圓約六割一分に達し、又臨時歲出は九十萬七千九百六十八圓約二分三厘の增加なるに對し臨時歲入は五百九十二萬八千五百九圓約二割の減少を示すに至れり。

而して財政の按排については明治四十三年度に公債募集金、一般會計補充金及び一時借入金合計約一千萬圓を臨時歲入中に加へて歲出入額の不足を補塡し、四十四年度には公債募集金千二百三十二萬餘圓、補充金千二百三十五萬圓を以て歲入額の不足を補ひ、大正元年度に於ては公債募集金千二百五十九萬餘圓、補充金千二百三十五萬圓を以て歲入不足を補綴し、大正二年度に於ては公債募集金千二百六十二萬餘圓、補充金一千萬圓を以て同不足額を補塡し、大正三年度に於ては公債募集金九百四十四萬餘圓、補充金九百萬圓を以て補綴したるが、大正四年度に於ては事業費資金借入金八百六十三萬圓、補充金八百萬圓を以て歲入不足額を補ふの方針なりとす

本年度に於ける歲出入實行豫算額は追加豫算を合し各五千八百五十六萬餘圓なり、之を明治四十四年度の歲出入豫算額四千八百七十四萬餘圓に比すれば九百八十二萬餘圓の增加なるが、一般會計の補充金、公債募集金若くは事業費借入金の累年減少せるにも拘らず都て歲出入の增加を見るに至れるは、即ち租稅收入及び官業收入の著しく增進したる爲めに外ならず、土地調査及び結數連名簿等の整理が進むに從ひ自然に其の稅收入を增加し、又貿易の發展に伴ひ關稅の增收せらるゝが如きは財政獨立の基礎を鞏固ならしむるものにして、斯くの如き狀態の下に四年の後には朝鮮は母國財政の補助を仰がずして獨立せる財政の上に百般の施設を爲し得べき也。

大共進會　出品概觀（五）

第一號館（農業部）

▲特徵ある種苗場　同構內には此他農事に關する百般の試驗成績を出陳せるが排列の方法、統計圖表の變化に富めるのみならず、如き皆簡明平易にして老幼婦女にも一見能く其意味を了解せしむるに努めたるは喜ぶ可し、之れに隣れる各道種苗場は五十四坪を十三區に劃し各道各別に其農業改良の成績を展示す可く各一個の陳列棚を領して或は對し或は背し又相側す、氣候風土の異なれるに隨ひ各道其試驗を異にし成績の同じからざるが如く陳列方法亦夫々特徵ありて格別の趣を見る

▲農業方法及び成績　鮮內各道に於ける代表的農事經營者を網羅せる農業方法及び其成績出陳所は二百四十二坪の區內に在りて九箇の陳列棚に並べられたるが、各自の經營方法並に成績一を示せる說明書は出品者が今日の成功を語る光輝ある歷史にしてまた鮮內農家の金科玉條たり、此他寫眞、成績品、模型の油繪等合計八十點中東山農場の大池忠助、奧田貞次郎、木村建夫諸氏の出陳せる包裝と改良包裝との比較、石拔精米機等の模型は殊に當業者の好資料たるを失はざる可く、就中川崎東太郎氏の出陳棚は小作者對地主間の家族的融和の狀況を指示して遺憾なく觀るものゝ氏の人格を敬慕せざるなし、之れと並むで非常の好評を博しつゝあるは富田儀作氏の殷栗鐵山及び鎭南浦三和花園の模型にして、同和花園は氏個人の所有地なるも久しき以前より之れを開放して公園となし內園の建築總て人の使用に任かせ居れるは人の知る所なるが殷栗鐵山の經營には特種の設備あり、即ち鑛山の除土を採りて附近の干潟地に堤塘を築き周圍の山野を開墾して畓を設け田を拓き、以て鑛夫の家族をして米麥を蒔き果樹を栽培せしむるのみならず、或は共同養蠶室を作りて蠶業を獎勵し、又は學校を設けて子弟を敎養する等普通の鑛山業者には思ひも寄らざる經營方法なり、此模型を見る者須らく玩味せざる可からず

○旅中吟　玉雪

南大門驛　立ち鈍りし南山も霧立つ夜

得忘れぬこの景を今宵袋こめし

永登浦驛　引き返したきを侮る窓辺やかに

車中　寢られん人を居る秋更灯に誰れん

草梁驛　明け雲の織る錦繡路蟲のなく

釜山著　山へ立ち歸る霧帆を旭に染めて

寢不足を欠ぎ寢の宿の秋の蚊帳

今朝秋のギラ風を帆並揃ひ居り

秋扇や海路控へて一人旅

日報俳壇　推子閑選

濟南府包子泉

人穢く泉に涼味なかりけり　檪黄子

青島を去る

夏霞我と隔つや此山土　同

紫陽花の色變る淡き離愁哉　同

黄海々上に出づ

暈はで立つ甲板涼し茜雲　同

芝罘寄港

海を抱く無樹山暑し港街　同

大連著

埠頭上雷雨霽れたり知己の顔　同

病む我に蟻あづからぬ暑さかな　東村

蝙蝠や子等あつめて去る水邊　同

比叡あたり夜の雨雲や蚊帳涼し　同

山百合や史蹟研めに博士逹　同

麻の風暮れて秋めく一夜かな　同

高原を恃む風車や雲の峰　同

浮草や影を落して深山雲　同

藍刈るゝ水沼の暑氣痛く眼に　同

射干や灯せは家鴨鷄舍にあり　同

紫陽花や空家と見しを灯のつきぬ　屋涯

釘打てど利かぬ古戸や雨蛙　同

靑蛙返草雨に根付きたる　同

生りふたる蓋顔の捨値や灯取蟲　同

ほの明の野中の驛や草涼し　非城

蟲干や婚期遲れし姉淋し　同

蓋顔に馬糞ころがす何蟲ぞ　同

行水や聞なつかしき深山樋　黄綠

山百合や動かぬ雲に風起る　同

犬來しに鷄かばふ礫茂る草　眉岳

假小屋の板反り瓣や椎の花　雄川

紫陽花に雨や寫經の捗れる　曉村

釣惹句稿に飛びし雫かな　奇骨

□秋の句か募る　京城平洞八五、佐藤與村宛

日報歌壇

□はつ秋　鎭南浦　喜代次

かにかくにいざや唄はむ秋なればおびえ心をただ浸さむかな。

わが唄のよわ〳〵しさが哀しかり海邊の草に小蟲なけるも。

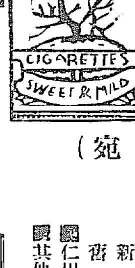
力なきこののど笛の聲えかも潮鳴る海に吸はれゆきける。

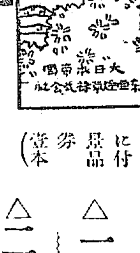
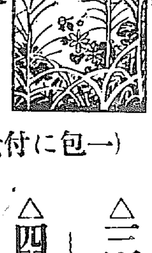
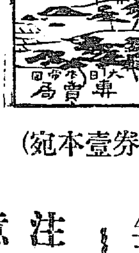
本日朝刊八頁 附錄共

京城太平通一丁目
發行所　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　巻口政太郎

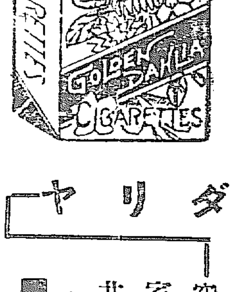
東亞煙草株式會社

ウヅラ　バナナ　ダリヤ　ウエルス　朝日　武藏野　敷島



（四包に付景品券壹本宛）（二包に付景品券壹本）（一包に付景品券壹本宛）



無料で家庭博と共進會が見られます

ダリヤ

空袋拾枚に付
家庭博半額入場券一枚
共進會入場券一枚

■空袋御持參の方には右の入場券何れでも進呈致します

■ダリヤ空袋は他と比較して大變割合が宜敷のでありますから精々御持參を願ます

徹頭徹尾顧客本位

■景品は面目一新凡て實用向の物のみに御座候

■賣出區域　朝鮮全道

■賣出期間　自九月十一日　至十月三十一日

■引換期間　自九月十一日　至十一月十一日

■景品引換場所

■京龍市內、京城本町二丁目　東亞煙草景品引替所
東大門市場內　扈根澔
南大門市場內　金弘植
光化門郵便局前　朴商店
本町四丁目　森田商店
新龍山　永濱商店
舊龍山　小山商店

■仁川市內　仁川新町仁川官煙販賣組合

■其他各地販賣店にて引替可致し

□景品

△一等　金庫、鞄、毛布、時計、其他

△二等　蟇口、ネクタイ、シヤツ、其他

△三等　煙草パイプ、活動玩具家庭博入場券共進會入場券、其他

△四等　匙、毛拔、鉛筆其他

△五等　マッチ、紙風船、釘、清快丸、其他

注意　景品券は到る處の小賣店にある筈ですから上記の煙草御買求めの際は是非景品券を御受取り願ひ升

東西南北

▲珍しい巨大の鯨 [illegible] て熱帶地方に生棲するもの [illegible] 五等 [illegible] 溺死 新潟市で北頭川開をや [illegible] ▲泥棒數日の女房が娼妓 岐阜縣ら北賓女郎の古手で百圓の金で身受 [illegible] ▲千 中に手品のやうた [illegible]

◎帝政問題 愈々建議案提出

參政院の帝政請願問題審査會は十五日午後二時開會請願書七十七通に對し審査を遂げたるが湯化龍、孫寶琦二氏の反對ありしのみにて討論の結果政府に向ひ建議案提出に決せり審査報告の要點左の如し（北京特電）

一、今次の請願は皆國基を鞏固にし國民を進行せんとするものなり

二、政府に請ふて年內に國民大會議を召集し大局を定め人心を安んず

海軍補充案 政友會の態度

政友會は目下縣會議員選擧に必死となり熱中し政務の方面は自然閑却され勝ちにて來期議會の重要問題たる海軍補充案に對しては黨として何等纏まりたる意見無きも在京議員中の重なる者の意見を綜合するに大體に於て延期說を有する者の如く其理由とする所は增師案と大同小異にして主義として反對せざるも歐洲戰亂の經過に依り製艦、艦隊編成等に就き必ず幾多の教訓を受く可く從來の如く大艦巨砲主義を持續することが有利なるか若くは巡洋艦多數を作ることが有利なるか等は戰亂の教訓に俟つ可きもの少からず且つ海軍當局が國防の缺陷を理由として一時も其補充を猶豫す可からずと主張するも財政の都合上大削減を加へられながら甘んじて此れに服從するは海軍の補充の一日の遲速を爭ふ程の急を要す可き問題にあらざるは一點疑ひを挾むの餘地無しといふに在り（東京特電）

◎官衙と大典順序

來十一月十日御即位式當日賢所及び紫宸殿に於て大典行はせらるゝに際し我國內外諸官衙は如何にして此の大典を奉祝すべきかに就き十六日首相官邸に於て臨時次官會議を開き左の如く決定せり

十日午後二時諸官員は各所屬官署に會同（服裝男子は通常禮服女子は白襟紋付）會同諸員の上席者は司會者席に著き開會を宣し司會者の發聲にて天皇陛下の萬歲を三唱し一同之れに和す但し時刻は紫宸殿大前に於て總理大臣の萬歲三唱の時刻に於て行ふ一同最敬禮の上散會（東京特電）

◎豫算閣議終了

十七日は閣議定日に付き首相以下各大臣及び大藏省より濱原次官、一來主計局長等午前九時より前後して首相官邸に參集、十六日を以て完了したる大藏省査定案に基き大正五年度各省豫算案を附議し武富藏相の詳細なる說明あり次いで審議に移りしが十一時に至り首相、海相、松井外務次官は前英國駐日大使マクドナルド卿の葬悼式に參列の爲め中座、正午歸邸して會議を繼續し午後八時散會したるが各省豫算全部の審議を大體終了したるもの丶如し（東京特電）

◎滿蒙經營打合

日支新條約實施に伴ふ滿蒙經營方針に關し打合を爲す可く政府は今回在奉天落合總領事に歸朝を命じたり（東京特電）

◎駐蘭公使更迭

近く行はるべき外交官の異動に伴ひ外務次官たる可しとの噂ある和蘭公使幣原喜重郎氏は御用歸朝を命ぜられ去る八日任地ヘーグを出發の旨外務省に電報あり氏は來る十月二十六日神戶著香取丸に便乘二十八日東京著の豫定なり、右に就き在和蘭臨時代理公使を左の如く命ぜらる（東京特電）

在和蘭公使館二等書記官　松原一雄
命臨時代理公使

◎ロ研究所一行

北京に醫科大學建設用務を帶びたるロックフエラー研究所ドクトル一行七名十六日朝鮮を經て奉天に來著南滿醫學堂滿鐵醫院を視察したり一行は十九日北京へ向ふ豫定也（奉天特電）

◎日清役記念日

過る明治二十七年九月十七日は我聯合艦隊が黃海に於て淸國艦隊を襲擊して敵の主力艦鎭遠、定遠をして戰鬪力を失はしめたる日にして恰も二十二年目に相當せるを以て十七日午前十時より築地水交社に於て其記念式行はれたり、會する者當時浪速艦長として勇戰したる東郷元帥をはじめ井上元帥、片岡、伊集院、出羽、加藤、島村の各大將以下三百餘名にして十一時庭內に祀れる水交神社前に整列し元帥以下順次禮拜を行ひ正午大食堂に於て宴會を開き東郷元帥の發聲にて大元帥陛下の萬歲を三唱し歡談裡に午後二時散會せり（東京特電）

◎軍醫正豫備役

十七日陸軍一等軍醫正大塚陸太郎氏外三軍醫正豫備役被仰付左の通り發表ありたり（東京特電）

依願豫備役被仰付　陸軍一等軍醫正　大塚陸太郎
同　陸軍二等軍醫正　內藤敬一
同　同　樋口勇三郎
同　同　野地忠司
豫備役被仰付（各通）

◎總督府員任免

十七日左の通り任命發表ありたり（東京特電）

朝鮮總督府屬兼視學　小杉彥治
兼任京城女子高等普通學校敎諭（高等官七等）　朝鮮總督府視學　丁奎鳳
任朝鮮總督府技師（高等官八等）　朝鮮總督府中央試驗所技師　橫山國次郎
陞敍高等官六等依願免本官
（東京發別電）

◎獨陰謀漸く顯著

米國內に於て駐米獨大使ベルンストルフ伯及び墺國大使を中心とせる獨逸の陰謀漸く顯著となれり

◎藏相新任披露

武富藏相は十六日午後六時より永田町官邸に三島日銀總裁以下十餘名を請待し新任披露宴を催ふせり

◎兩記念祭と前景氣

二十七日橫須賀に於て海軍創設五十年祭を擧行し東京上野に於ては東照宮三百年祭を催ふす事となり前景氣頗る盛んなり

朝鮮大共進會

▲艦隊入港時間

十八日朝入港の第二艦隊に對しては久水府尹出迎に行く可く尙敬意を表する爲め櫻井稅關長、松元警視の各官同行す可し入港時間は確定せざれ共仁川港外二百浬の附近に於て無線電信にて通知する事となりをれり

▲軍艦入港出迎

第二艦隊鹿島外四艦は六隻の驅逐艦を隨へ十八日正午前後に仁川入港の豫定なるを以て總督よりは森海軍少將之れが出迎へとして十八日朝仁川に向へり

▲阪神紳商來期

西部鐵道管理局主催となり阪神地方の主なる實業家約二百名を網羅し十月十五日大阪發同八日南大門著の豫定にて入京の筈なるが右に就き同管理局よりは局員一名打合せの爲め十七日入京京城協贊會に出頭各種の打合せをなしたり協贊會にても歡迎の方法攻究中なりと

▲仁川大歡迎會

十八日入港の第二艦隊將校の大歡迎會は水族館階上に於て開催する事となり仁川府の方にては二十日午後一時より開宴の希望なれ共確たる時日は愈々軍艦入港の上打合をなす可しと

◎總督張宴 名和司令官等招待

寺內總督は十九日午後七時より十八日仁川に入港し十九日入京の筈なる第二艦隊司令長官名和中將、司令官森山少將、各艦艇長、幕僚等三十名を官邸に招待、晚餐會を催す由なり總督府よりは山縣政務總監以下各部長官所屬官署の長官其他よりは井口軍司令官、河村師團長、古海軍參謀長等亦多數列席す可し

◎滿洲と縮約農耕 橫井農學博士談

帝國大學農科大學敎授橫井時敬氏十六日午前九時三十分運轉船新羅丸にて釜山著十時三十分發水原に向ひたるが氏は水原及び京城に一兩日滯在其れより農政調査の爲め約三十日間の豫定を以て滿洲に赴く筈氏は棧橋にて往訪の本社記者に左の如く語る

▲滿洲の開發 は各方面から行はなければならない即ち鑛業なり林業なり牧畜なり商業なり其れ〲開發の途は多いが其の根本的の開發は農業の發達に俟つ事は今更論するまでも無い然らば日本內地の農業者を滿洲に移殖して彼の廣漠なる平野に於て農業に從事せしめなば果して成効するや否やと云ふに余は遺憾ながら『否』と答へなければならぬ一體日本內地の農業者は古來より氣候の溫和と土地の膏美とに由て狹少の

▲稠密の生活 を爲し收約農耕に馴れ殆ど先天的に縮約農業に適當なる體質と思想とを享受して居る之れをして假りに沃野千里の地を與へて耕耘せしむるも彼等は其の一部分の五反或は一町步の地を極めて綿密に人工的に利用し耕作するであらう彼等の體質と思想とは千里の沃野を悉く耕種するが如き大規模の農業を爲す事は到底爲し能はざる所である即ち日本人の爲し來れる縮約的農業は內地の如き土地狹少にして而も氣候極めて溫和なる地に適し滿洲地方の如き氣候激變の地に於ける農業に適せず彼等は土地と氣候との關係上自然に粗農たらざるを得ないのである而して滿洲の農家に於て其の副業とする家畜其他の

▲家畜の如き も內地人の事業者に比し大規模に飼育し且つ其の飼育法の如きも極めて粗放である此の間に處して人工的縮約農業を經營するとせばそれは一方天候の打擊を蒙り一方粗農との競爭場裏に於て失敗を取らなければならぬ一段步から二石も三石も收獲を得んとする縮約農に對し粗大農は其經營を省き三反步を耕して三石を得んとするのであつて天候の災害を蒙ると雖も其打擊は縮約農に比すれば常に

▲幾分の收穫 を餘すを通常として居る然らば日本人を粗大農として滿洲其他の大陸農業經營に適せしむる方法が有るかと云ふにそれには第一頭から凡て其の段取りに掛からなければならぬ即ち農業敎育を受けた青年を廣大なる農業地に送つて數年乃至十數年間實地に研究し經營して其の經驗に由つて得たる所を以て範を示さなければならぬ之れには今の東拓の樣なものも必要で有らうし種々の設備を要する事であるが果して今云つた樣に先天的縮約農の日本人が粗大の農業者となり得るや否やは頗る疑問である（釜山支局）

◎北鮮風雨被害 悲絕慘絕を極む

過般來の暴風雨北鮮の地を襲ふの報は既記の如くなるが其被害慘悲の狀況を聞くに羅南に於ては軍用地の石垣崩壞四十間家屋浸水四十九戶に及び獨津に於ては激浪の爲め家屋の流失八戶半壞九戶浸水二十六戶にして憲兵駐在所の如きは全壞し淸津羅南間は目下交通杜絕中なり明川郡の大良化に於ては總督府水產試驗船難破し乘組員一名死亡し同港は

▲激浪の爲め被害 目も當てられず淸津に於ては九日午後〇時の如き激浪の高さ十八尺餘に及び沿岸の市街を浸し稅關構內及び道路破壞し電柱四本を倒し尙家屋の浸水內地人四十三戶鮮人四戶支那人一戶破損六戶を生せり又魚市場附近の繫留の漁船五隻沖合に漂流し內二隻は救助せられたるも三隻は力及はず此乘組鮮人十三名の內五名は後に至り海岸に打上げられたるを救助し其他は行衞不明となり又末蔭洞海岸に於て鮮人男五名女一名の

▲屍體を發見した るが內二名は前記行方不明の漁夫なること判明したるも他三名は何者なるや未だ判明せず淸津府寺岩面、浦項洞に於て家屋の浸水約百戶に及びたるも交通杜絕の爲め詳細の狀況は不明なり淸津會寧間及び淸津鏡城間の輕便鐵道の橋梁は全部流失し尙寺岩面鐵道基礎工事も尠からざる損害を蒙りたり道廳に於ては淸津鏡城間の交通を連絡せしむる爲め

▲應急の處置として 輸城川及び羅北川に渡船を開始することゝせり淸津土木局出張所八島技師鐵道局加賀技師淸津署川原警部及び淸津居留民長四元嘉平次は道路の應急修理に關する打合せの爲め『ランチ』にて獨津に上陸道廳と協議せり然れども慘狀を極めし現狀を復舊せしむるは幾多の日子を要すべし

◎鮮鐵最近荷動狀況

朝鮮鐵道局最近（九月上旬）に於ける荷動狀態を聞くに總噸數三萬六千百六十噸即ち一日平均三千六百十六噸にして前年同期に比し三千六百六十三噸の增加を示せるが其中荷物の主なるものを擧ぐれば

石炭	八、五七三噸	米	六、七七七
木材	三、六〇一	薪	四八三
鑛石	一、五二八	明太魚	四三八
雜穀	一、一〇九	石油	三八三
大豆	六一四	木炭	三八二

等にして此の中前年同期に比し著しき增加を示したるものは

石炭	四五九三	鹽	三二四
米	二八五二	鹽干魚	二一二
木材	一三六〇	明太魚	一九八
薪	三五九	石油	一四五

等にして本旬も亦前年同期に比し概ね增加を示せるが就中石炭、米、木材等多大の增加を示せり今試に主要貨物の出荷狀況を概記せんに

▲石炭 主要發送貨物中第一位を占め平壤鑛業所炭（美林寺洞中山里發）及び安東發撫順炭の荷動き最も旺盛なり本旬に入り寺洞發煉炭好況を呈し南大門西大門開城平壤等へ總數二百二噸を出送せり季節の關係上今後引續き本品の荷動を見ん

▲米 新米の出廻りも目睫の間にあり且つは本年の豐作を豫想し相場の先安を氣遣ひ賣放す向き少からざるも目下の如く京釜湖南沿線より釜山南大門群山仁川木浦等に集荷せらるゝもの頗る多數に上れり即ち前日來七百噸を維持し本旬に入りしが四日には急遽一千噸臺を示し例年の出盛期は十二月頃に於けるが如き盛況を示し爾來降雨の日を除き六百噸乃至八百噸臺を持續する殷盛を呈せり其他木材鑛石國大豆繩叺海草牛皮生牛等皆何れも前年に比し好況を呈せるが獨り雜穀のみは前年に比し四百七十四噸を減少せり這は全く前年同期は恰も歐洲戰亂勃發と共に內地製粉界活躍せしを以て小麥の荷動き殷盛なりしに依る

◎仁川の陸運界

八月中の仁川驛及び杻峴驛發著貨物の合計數量を調査するに發送貨物の重なるものは米三百五十八噸大豆三十二噸雜穀三十八噸麥粉七十八噸鮮魚五十噸干魚百二十九噸鹽三百五十七噸砂糖五十二噸味噌二十八噸醬油二百四十三噸食料品百十四噸和洋酒百噸煙草百十二噸藥品五十一噸金巾二百四十三噸綿布四十一噸麻布二十六噸紙類四百一噸燐寸百二噸石油三百九十三噸鑛石四十七噸陶磁器六十噸金屬類五百十四噸家具類五十噸繩叺六十二噸石炭卅九噸木材二百十三噸釘及び亞鉛板六十三噸セメント五十二噸局用品二千三十九噸油類四十五噸洗背達四十四噸硝子器四十六噸酒精三十一噸其他七百二十六噸合計六千八百七十九噸にして到著貨物の重なるものは米一千七百九十三噸麥二百二十噸大豆百四噸麥粉三十六噸煙草五十七噸鑛石七十六噸石炭五十一噸木材百二十八噸煉瓦百四十七噸硝子器二十四噸其他二百六十噸合計三千零三十三噸なり之れを前年同月の發著合計數量發送三千八百八十四噸到著九百三十三噸に比する時は發著共約二倍の增加を示せり

◎鮮銀支長會議

朝鮮銀行にては二十一日より三日間同行に於て鮮內は勿論內地滿洲に於ける各支店長を召集、會議を開き銀行事務に關する諸般の事項に就き協議す可しと

人事消息

▲松尾鶴男氏（東京實業家）　十七日仁川より入京朝鮮ホテルに投宿
▲アーレン氏夫妻（在橫濱英國實業家）　十七日用務內地へ
▲ウイリヤンス氏（同）　同鳥致院へ
▲吉田壽信氏（廣島縣官吏）　同上內地へ

鐵道大競爭

南行選手（元氣益々旺盛　出發先は臺灣）

北行選手（門司港を後に　同じく臺灣へ）

北行旅程 哈爾賓丸より

爽が〱しい朝が來た、船は夜と共に黃海を辭して淡き島影が右舷左舷に隱見する、多島海に入る玻璃盤上を行くが如き安全なる多島海の船路は益々元氣汪溢するを覺えしむ『實は本船初航以來新聞電報は始めてゞす』と無線電信局での話しなり、譯無しに第一といふことが非常に嬉しい、呼べば答へん許りの島影を左右にして玄界は夢の間に過ぎ十八日朝門司著の豫定（十七日正午零時半發無線電信哈爾賓丸より）

門司の山河を後に

六千餘噸の商船……宛然海上の城廓の如き日本郵船の因幡丸、播磨丸は將に臺灣に向つて出發せんとして黑煙を濛々と揚げてゐる、僕は此船に便乘して南基隆に向ふのだ巨象の如き偉大な體軀の持主たる宮永郵船門司支店長は快濶に僕に語つた、臺灣は近頃デングフイバーといふ熱病が流行してゐる現に內田民政長官の如き一度彼地で冒されたさうですよ』と僕の心を緊張させて置いて『併し貴下は體軀が强さうだし其れに競爭といふ意氣が旺盛だから病氣の方で御免を蒙むるでせう、又近頃いくらか下火だといふ話しですから……でも御注意なさい』船は四時解纜す（十七日午後三時廿分門司發）

■南行選手臺灣に向ふ

別府南行選手十七日午後四時門司出發日本郵船因幡丸にて臺灣に向ふ（十七日午後四時十分門司發）

旅館 元山愛媛館 海岸通二丁目 電話二三三番

最上薄口醬油 生揚印 發賣仕候 永登浦 大塚醬油釀造所

自轉車はミノヤに限る
販賣品は極度の安價にして
修繕は至極親切叮寧に致します
京城南大門通 新井藥舖前 電話二三七三番

オリンピックフートボール

各學校の證明書を有する最も堅牢無比經濟的にして且仕合に適合せる絕品なり
秋期カタログ無代進呈
京城本町二丁目 篠崎運動具店

小兒科專門 內科 若槻醫院
京城旭町三丁目（元十全病院跡）
ドクトルメヂチーネ 若槻寬隆 電話二四六二番

布團わた 中入綿 小袖わた 眞綿類
綿類卸商 大安賣 三浦綿店
釜山大廳町三丁目 電話二百五十五番 振替京城一三六三番

卸問屋
共進會出品
朝鮮釜及板金製品
日ノ出票 遊ノ鹿票 素麵 饂飩
日月票 洋蠟燭
金貨票 浮石鹼
○共進會中特別割引販賣致候
釜山本町三 近藤商店
日鮮諸雜貨（販引）
鍋釜金物類（雜貨）

通の盤甲形に非ずして屋根瓦を葺いで參考品とする事とした漁民等は[illegible]たやうな形で四肢は鰭狀を爲し居り龜は小判を持ち來たさ大喜びで[illegible]注しの仮[illegible]上野東照宮三百年祭展[illegible]

團體が續々詰めかけた

澄み渡つた秋晴れつゞきに共進會の賑ひは日に日に加はる、十七日正午頃からは京城專修學校の職員生徒百五十名、京城中學の生徒職員七百二名を始めとして京城仁峴普通學校、養正普通學校等學生團が波を打つて入場する、それが午前中から觀覽してゐた、黃海道黃州蠶業傳習所、京城女子普通學校附屬普通女學校、櫻井小學校、京城漢洞普通學校、大邱公立普通學校、春川貞明女學校その他私立學校生徒團大組等と一所に爲つて殆んど學生團で一杯の有樣、中にも高等學校や中學の學生連は見さん樣大に一々手帖を出して自分の觀察を控へて行つた荷めにも參考となる出品は見落すまいとの熱心、珍しい動植物や美術品は簡單に寫生して行く、時には互に議論を初める、といふ有樣で殆んど閉場の時の迫るのも忘れて見物してゐた、その他で十七日入場した主たる團體は黃海道の黃州郡、金川郡の百七十二名、京畿道の七十四名、忠南の青陽、論山兩郡の百十名、江原道の高陽郡兆東面の四十一名、咸南定平郡の百五十五名京畿道の始興郡の千名近くの大團體、平北江界郡の六十七名等があつて開場以來その團體の數の多かつた事は今日が第一であつた

艨艟來る 仁川港頭の壯觀

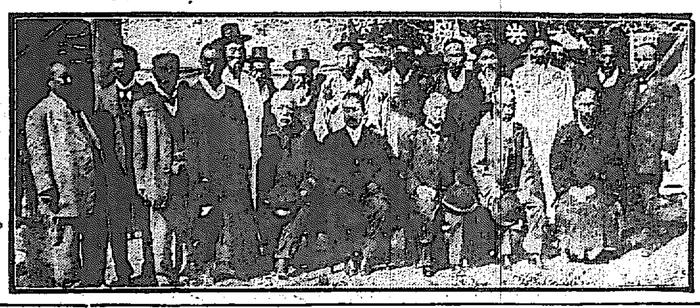
大共進會の開催と共に仁川港に來航すべき第二艦隊の一部は十八日午前中舳艫相啣んで入港の筈である、艦隊は戰艦鹿島、三笠、肥前と一等海防艦周防の四隻、これに三等驅逐艦初霜、響、白雲、野分、松風(一隻は不明)の六隻を加へ威風堂々仁川港頭に現はるゝのであるが引續き廿五日迄の仁川港は巍巍たる旭日旗影と山の如き艦影と相俟つて蓋し時ならぬ壯觀を極むるであらう、わが第二艦隊の光輝ある歷史は近く青島攻擊の殊勳に見るも吾人の記憶に新たなる處なるが各戰艦それ〳〵の戰功は實に千古不滅の光榮ある歷史である、殊に日露戰爭當時に於けるわが聯合艦隊旗艦として東郷司令長官の坐乘せし戰艦三笠の堂々たる雄姿は觀覽者の血湧き肉躍るを禁じ能はざる處であらう、加之ならず吾人はまた名和第二艦隊司令長官、森山司令官、加藤參謀長心得、各艦長以下其の戰功ある艦と共に記憶すべき海上の勇士を迎へたるを悅ぶ、あゝ光榮ある堅艦と光榮ある勇士、吾人をして其新たなる記憶を語らしめよ

▲香取鹿島は弓矢の神 戰艦三隻の内弓矢の神の名も著るき軍艦鹿島は最も若く第二艦隊の旗艦である、噸數一萬六千四百噸、砲熕は十二吋主砲四門と十吋砲四門を有し日露戰爭の終り頃は我が海軍の新勢力として大に重きを爲したものである、此時艦隊編成の根幹を超弩級艦に改めて扶桑、霧島が進水した今日ではわが鹿島の名も昔日の重きをなさねけれ共、それでも帝國戰艦中の中堅である今後共鹿島神社の武運を享け光輝ある歷史を進すであらう

▲旗艦は花の三笠艦 恐らく世界に於て東郷大將の名と共に三笠を知らぬ者はなからう、日本海の怒濤天に迎つて高く、波羅的艦隊の艨艟海を蔽うて東航するの時、旗艦三笠の檣頭高く翻る彼の勇ましき戰鬪旗と東郷司令長官の命令せる千載不朽の信號とは世界の人の知るところ、旗艦三笠は日本男子の血を湧す名である、噸數は一萬五千、明治卅三年英國で建造され十二吋主砲四門、六吋砲十四門を有して居る

▲レトウイザンこボベーダ 時しも明治卅七年の如月八日、一天雲重なりて弦月淡き旅順港頭の夜半を俄然砲聲轟き鐵火飛ぶの大修羅場と化せしめしは日本海軍驅逐艇の奇襲であつた、其の時閃々たる探照燈の光に山の如き巨艦が傾斜のまゝに或は沈み或は擱坐せし光景は實に物凄き許りであつた、其の巨艦中には今の肥前艦レトウイザンと今の周防艦ボベーダが居た、肥前は實に旅順海戰を記念すべき捕獲艦である、噸數一萬七千噸、砲熕十二吋四門、六吋十二門、明治卅三年米國で建造された軍艦である、當年のボベーダ今の周防は軍艦相模と姉妹艦、噸數一萬二千六百七十四噸、砲熕十吋四門、六吋十門を有し明治卅三年露國に於て建造されたものである

▲名譽の提督 青島攻擊に參加せる光輝ある第二艦隊司令長官加藤定吉中將の後を襲うて今の榮職に就いた名和中將は從來多く海軍教育本部長の要職にあつた前には海軍本省に出仕した人で現職の司令官森山少將は曾て瓜生艦隊の首席參謀として日露開戰の劈頭仁川沖の海戰に參加した人近くは出雲艦長として墨西哥の警備に派遣され後日獨開戰と共に南洋方面に活動せし人である參謀長心得加藤大佐は海軍大臣秘書官、英國及び露國大使館附武官を歷任し常に樞機に參した人である日露戰爭當時は旗艦三笠の砲術長であつた、鹿島艦長島村大佐は日露戰爭當時上村艦隊の參謀たりし人三笠艦長久保大佐は大海大學校教官を始めし常に教育方面に關係多き人であると就中戰術上の造詣深き武人である、肥前艦長中島大佐は海軍有數の外國通を以て聽えた人、永らく伊太利大使館附武官であつた次に周防艦長丸橋大佐は曾て大學校教官たり頗る航海術に造詣深き人である



經學院講士家庭博觀覽

經學院講士團來觀 大に朝鮮家庭の改良を論ず

十七日家庭博開場と同時に第一番に自動車を飛ばして來たのはフロツク姿の朴齊純子爵、經學院の講士の團體と一緒に來る筈だつたが團體では思ふ樣に見られないので一人で來たといふ養老室と

▲一疊半の臺所 子供の食事の仕方、食ひ方などが氣に入つたといふ、女子供は唯人形大見て綺麗だ綺麗だとうかうか觀て步るいたので何にもならんから自分が先きへ來てよくその觀察すべき點を教へて遣

手帳に書きつけたり、大分面白さうであつたが、躍りには運動場で遊動圓木で跳ね廻つたり、お猿の安さんにからかつたり、カチ〳〵山から汽べつたり、デン〳〵太鼓を鳴らしたり大に活潑なところを觀せ四時間ばかり遊んで去つた、朴齊純子、閔泳徽子、朴箕陽男、南廷哲氏等貴族名流の來觀があり、各道經學院講士十三名その他經學院關係の人達が二十名ばかり來た李講士は朝鮮の臺所は大抵二間位使つてるがとれは一間あれば澤山

△書齋こ應接間を兼ねるたのはいゝ、これを參酌して大に改良の要があるといふ、黃講士は一體人間といふものは大を好んで小を排斥するものである小を以て大に代へて使ふ事は必要な事である、大は小を兼ねるが小も大を兼ねられぬ事はない中庸にある『放之則彌六合、卷之則入于懷中』の意味は即ち此處だ、と漢學者らしい事をいふ、そして自分は家庭博覽會によつて學ぶところは以上の外に大分あつた、地方に歸つたらそれ等を材料にして講演するつもりだと言つた、一行は記念撮影をして經學院に行つた尚此日は關門日々新聞社の觀覽團も入場した

るのだ、家庭博の總ては婦人に取つて必要だがその必要なところを示してやるには男の方がいゝ、明日にでも自分も一緒に來て家族に觀てやるのだといふ私立進明女學校の生徒百餘名が來た、何れも日本語が達者なので一々說明を聽きながら二時間近くかゝつて各室を殘りなく觀て步いた、始めて日本の家庭——彼等が想像してゐたところと相一致するところがあるのか ▲いろ〳〵質問を發したり

(四) 物を粗末に 太郎さん記

一疊半の臺所といふのが餘程面白かつたと見えて御母樣も姉樣も看守女に冗さと種んな事を聞いてゐたが僕は面倒臭いから中流住宅の書齋さあるところの前に立つた。長椅子があり、丸卓子があり椅子が四脚ばかりあつて庭に面した窓際に書棚、机があつて圓い椅子の上に伯父樣が座つて書き物をしてゐる、お父樣の居間さ書齋は僕の家では一緒になつてゐるが應接間を兼ねてゐるのは此の書齋だけで好い感じがするのは此の書齋の特色であるらしい『應接間も客間も叠向』

古新聞一枚を七毛さして三百五粒に當り掛す一本を五分ぞ見て二十二粒に當る、その他針一本が幾何、糸屑一尺が幾何なぞと姉樣などが不審紙一枚が一風五毛さして米粒六百十五に當るとする。一風の粒數は四百三十七粒になる、思ふ、その宅の上の『物を粗末にするな』と書いた額には米一升を假に十六錢さしその粒數を七萬とするさ、日常僕達が使つてるものゝ値段に換算すると大いに捨てる物が若米數何百何千粒といふ事になつてゐるのには僕も聊か驚いた。

□半紙に無駄書をしたり鉛筆を無暗に削り捨てたり僕は米粒をどれ程無□ 大變な事をしたと思ふ。七つ八つの時分まで御飯を粗末にすると眼が潰れるといふ事をばアヤから聞いてゐたが、之れによつて見ると僕の眼は幾何あつても足りなかつたわけだ。お母樣が『物を大切になさいといふのではこゝだよ』と言はれる、姉樣は聞えない樣な風をしてゐる。客間には眼の人形さお爺さんの人形があつた、きれいな生花がある、瓦斯暖爐がある、絨氈でも壁掛でも室內の色は

總じて柔らかい色が使つてある

『客間には成るべく女性的の裝飾をして來客に快い感じを與へる樣にするのが好いのださうですよ』と姉さんがいふ、そんな事は『京城日報に出てゐたよ』さ言つてやつたら『さうよ』と澄ましてゐた。これで三號館が濟んで梯子段を降りると四號館だ。姉樣の好なクラブ白粉だの洗粉だのが澤山ある

□自動車でお嫁入する所 が模樣が小さな人形や自動車の模型で現はし□

てある。姉樣は羨ましさうに覗き込んでゐるのを引張つて皆宮中で使つたといふ儀式用の朝鮮料理がある、數は二十種ばかりその高さは四尺もあらうか甘い樣な變な匂ひがするが朝鮮人は欲

水族館めぐり

(一) 大鮃の海驢君

京城の太郎さんへ 仁川の次郎さんから

太郎さん僕はこれから毎日水族館を御通信を致します今日は海館の第一番の呼物たる海驢の事を御知らせ致します檻の中にチヤブン〳〵と遊び廻つてゐますが一匹に魚の二貫匁以上も食ふのですから腹が太れば岩を枕に高鼾で眠つて口髭の長いのをヒリンヒリンとさせて居ります、太郎さん此の獸は大きいのは一丈七八尺から二丈もあつて牝は此の牛分位の物であります仁川の水

□北海道からの來客 族館に居るのは七尺位のものでありますがこれは牝です、上唇に四五本の弾ヤ鬚があるので一名とドも云はれるのであります牡の方は皮紋があるのですが仁川のは茶褐色の牝です、此の獸の居る處は九州沿岸から北は北海道まで、前は日本内海の中部に多くあるのです僕が北海道航路の汽船で積丹の沿岸を通つた時には數百疋の海驢が海の中からぶく〳〵頭を上げて

□甲板の上で泣いた

來たので縮み上つて了ひますり生れる處や休憩所は大抵一定してゐるのであり、か島の名が附けられ

てゐるのがよくあります伊豆七島にもあれば紀州や常陸の海鹿島がそれで す太郎さん此の獸は大抵海中に棲んでゐるのですが島嶼に上つては晝寢する事がありますよ牡は必ず二三疋の牝を連れて其の群は陸上に團欒つたり海中に戯れて居るのですが其の中の一頭は四望し必ず警戒の役目に就く事は恰度兵隊さんの歩哨のやうなものです七月頃から九月迄の間に子を産んで繁殖するのです、見て居ると活動の鈍い動物ですが、あれでも中々ずう〳〵しく網に罹つた魚を奪

□知らぬ顏で濟し て御馳走に爲つて込んで居るのですよ、北海道邊では鮭を河の中に追ひ込んで逃路を遮断て捕へるのであります、斯樣な時に海岸近く來て居つても漁師は之を捕へないので す、それは海驢は魚を逐りて海邊に來るから反つて漁夫仲間では神さんと崇拜してゐるのですよ太郎さん此の毛皮は水が透けるから胸具にしたり切り截つて網を拵へると中々强いのですよ齒は彫刻の材料としたり鬚は磨いて羅紗で雨衣を拵へると如何んな激しい雨でも透けるのです、朝鮮では黃海道の沖合に居つてヨホお之さんの術と言つて居ります、太郎さん明日は魚槽の第一號の龍宮乙姫様からの珍客とちさめはしざめを初め其他種々な物を御通知せ申ませう

お媼樣の肩を叩いてゐた

は先づ此等の物を注意して觀る必要があらうさ思ふ小さな女の子が一人は扇を持つて舞ひ一人はお媼さんの前には小さな机があつて謠ひ本が載つてゐる、お父樣よりは謠ひ方の姿勢がいゝと思ふ、その宅の上の『物を粗末にするな』と書いた額にせず、壁掛にしたがい〻樣だ』さ僕の後ろでお母樣がいふ、家族の居所を詳く注ださうだ その次ぎの室には『新らしき人にも古き孝行を教へよ』とある

□女學世界を見たり讀み女樂の雜誌を愛讀しては無暗に新らしがつてる姉樣□

隣りが朝鮮上流家庭の內房

しさうに頻なクン〳〵言はせてゆく四川館の出品だそうだその隣りは綺麗な錦繍が眼に匠いてあつて朝鮮の人形がゐる、僕は朝鮮らんが改良された模範的の家庭だといふ、これが鍛錬と五號館だ

十晋州出發前に爭鬪の試驗をなしたるものゝみで十頭宛源平に分つて鬪爭をさせるのだからこそ珍らしい見物であらう

鬪牛來る 勇ましい晋州名物

共進會開催を好機として明治町東拓前空地で慶南晋州の名物鬪牛を觀せる事となり既に晋州產の二十餘頭の鬪牛は京城に來てパコダ公園裏手で銳氣を養ひ愈々十八日午後一時から開始するさうだ此晋州名物の鬪牛は毎年舊盆及び正月の二回に行はれて內地で行はれる競馬の如うに附近の富豪は常に優勢なる鬪牛を飼育して互に技を爭ふのであ る鬪牛に使用する牛は平素から勞役に使用せないで濃厚なる食物を給與して單に爭鬪に用ゆるに過ぎず其價格の如きも爭鬪の巧拙によりて上下があつて正月の鬪牛大會に於て勝利を得たものは立ろに數十圓の騰貴を爲す此技は此地方の年中行事中最も盛なるものにして附近の老幼男女の集るもの數萬爭鬪場の附近は山と云はず岡と云はず一面人を以て埋められる鬪牛は爭鬪の時にのみ猛烈に鬪ふのみにして人に對しては

至極柔順で爭鬪場の附近に柵等の設備をなさゞるも人を負傷せしめたることはないさうである今度京城に來た鬪牛は此地方の優秀なるものを全部網羅したるものにして頭數二

家庭救急法 一名『醫者の來るまで』

家庭博覽會記念出版

之れは總督府醫院醫官宗谷博士が家庭に於て急場の間に合はす醫療の方法を親切に解り易く繪入說明で述べられたもので是非一部家庭に備付けて置かなくてはならぬ貴重の本であります

家庭博場內賣店にて 一部代價僅か五錢

■十八日の演藝館

出演藝妓人名(京城券番)

▲御代の榮(花奴、さから、喜蝶、鮎子、小三、金丸、奴、梅子、小菊、玉八、千代作、百合子、みつえ、糸子、千代羽、こみか)▲つひのよるべ、米香、丸子、千代香、梅若)三味線(小六、力彌、白菊、玉菊)▲歌(光吉、十一、高奴、貞榮、花男)▲唄物(芳江、勝丸、秀丸、千江子、花づる)

出演妓生名(茶洞組合)

一高句麗舞(金翠紅外六人)二公莫舞(李蘭香外一人)一光神舞(金錦蓮外一人)一僧又舞(安錦香外一人)▲人名 光花紅、金翠紅、崔蟾紅、金玉凰、金春桃、尹昇月、李蘭香、崔佳香、金錦蓮、白雲仙、李昇月、安錦香、金錦珠、吳小紅、鄭蓮心、金點紅

□夜間の部(活動寫眞)

一エクレール、一大きな炬燵、一シヨンノ留守番一サルシオ島、一學問好き、一醫期せる逃賊、一佛國民軍事探偵

△鬪牛(十八日より明治町にて開場)は朝鮮に於ては慶南晋州にて毎年舊盆及び正月に行はれ居るのみにて過般釜山共進會開催の際同道廳主催にて餘興として鬪牛を開催したるに大喝采を拍したるより今回の共進會の開催を機さして京城に於ても鬪牛の興行をなすことゝなり愈々來る十八日より明治町東拓前空地にて

▲佐久良座 照榮一座の歌舞伎芝居は十八日午後二時より花々しく開演の筈、藝題は千代萩式三番引ぬきだんまり六歌仙なりと

皮膚科・黴毒科

入院隨意(診察夜九時迄)

皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱器病 生殖器病 機能障碍

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元町二丁目) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

今日より夜間開場 家庭博覽會

◎京日案內 ◎番外 一回前金六十錢(無料引)匿名一回增しに金十錢

店員入用 呉服物商に經驗ある二十年迄の者にして身元保證人ある希望者は來談あれ 京城本町一丁目 マルイ 伊藤呉服店 531

▲りん病ばい毒 にて困る御方は御出でなさい詳細は本月四日の京城日報を御一覽あれ 京城南大門外 ドラッグ商會 563

朝鮮特產人參ミルク 見舞品內地土產品には好適本品は一磅入廿五錢 主所の特約店にあり 製造發賣元 櫻井町 衛生堂 558

給仕入用 年齢十四五歲 望者は午前九時迄に履歴書携帶來談あれ 京城黃金町 有隣生命保險株式會社 551

募集 女子有給從事員十名採用 高等小學卒業程度年齢不問 京城若草町 報國公債株式會社總代理店 電話二二六三番 西村商會 430

入齒 技術誠實 共進會 朝鮮中特別割引仕候 京城本町三丁目 商業銀行支店入 永井 53

古着古道具類 一般右は相當價格を以て確實に買受候 旭町一ノ廿一 電話一八一二 クヅ谷商店 509

祝共進會開催 京城水標橋觀水洞 東興隆本店 電話二千〇七二番 552

共進會記念集合撮影 迅速調製 定價卅錢 門鑑寫眞 本町二丁目總督府御用 浦尾旅館前 金田寫眞館 529

學理應用鍼術所 諸病に應用小兒病に有效 城内旭町二丁目 成身院 出島忠勝 四九番地毎月十六日より廿日出張 仁川仲町三丁目 京549

○朝鮮に二つなき製造工業 主人病氣歸國に付至急讓渡し度し資金要五百圓純益月百五十圓以上 明治町明治湯隣 永井小間物店 545

◎共進會無料出入門鑑 寫眞は非常な便利を計ります出なさい 共進會場內東亞煙草店塔の下 エム寫眞館出張館(本館龍山電六五) 539

◎土產品は翡翠に限る 朝鮮豆元 名產高麗豆祖 珍菓新羅 明治町二丁目村井商會取次 電話二三六八番 544

オモチヤ 共進會歸りに御兒樣達の土產品に 店は京城明治町二丁目 吉岡オモチヤ店 電話一八四〇番 500

店員入用 呉服太物商に經驗ある二十歲迄の身元保證人ある者年齡十五歲以上廿一限 は履歷書携帶本人來談あれ 京城本町一丁目 希望者 呉服店 525

諸鳥羽製品弓矢附屬品 剝製標本類 京城本町三丁目四二 早瀨商店 494

普通 一回前金三十錢(無割引) 匿名一回增に金五錢增

對人信用秘密金融 京城府櫻井町二丁目谷の一(學校通)諏訪 564

ニコ〳〵筆は運筆自在にて實用に適し耐久力に富む一度御試あれ 黃金町三 山田文殊堂藥房文具部 555

看護婦至急入用 希望者自筆履歷書携帶本人來談 京城本町三丁目 贊化病院 556

◎求職 甲種商業卒業生會社に奉職度御報次第參上(姓名在社)

◎下宿兼旅館 共進會準備完成の至急讀る平時月收益平均卅五圓(姓名在社)

看護婦募集 外勤多任務ある看護婦見習生至急來談 南山町三丁目二九 宮林看護婦會

古本▲雜誌▲新聞▲買入 電話三五三番 京城本町 ウヅボヤ書籍

貸家 日本建具室附三室 漢陽公園前 四畳半 官吏向 管理者 寄龍山印刷局 畑中

寫眞技士 知人住所姓名 なる貞技寫師に至急報知を乞ふ 大連西公園 一六八六 坂根

女中口入 官吏商家旅館下宿 明治町二丁目 萬年社 電一八四

京城學校組合公文

●京城學校組合告示第三十三號 京城學校組合授業料徵收規程の改正に付京畿道長官の許可を受けたり

大正四年九月十四日 京城學校組合管理者 朝鮮總督府府尹 金谷

京城學校組合授業料及保育料徵收規程

第一條 授業料及保育料は別表に依り每月五日限り保護者又は其代理人より徵收す但し特別の事情あるときは此の限にあらず

第二條 小學校一家に於て二人以上兒童の就學するときは第二條の授業料全額と其他の半額を以て納入義務者の負擔とす但し第二條の授業料全額とする場合は此の限にあらず

第三條 授業料及保育料は授業日數に拘らず十五日以前に入學又は入園したる者は其の月分の全額を徵收し十六日以後に入學又は入園したる者は其の半額を徵收す

第四條 學校組合員にあらさる者の授業料及保育料は別表に定むる額の二倍とす

第五條 學校長、本規程に依り生徒兒童の保護者中に特別の事情ある者の授業料又は保育料の納入を減免せんとするときは管理者の許可を受くべし

附則

本規則は大正四年十月一日より施行す京城居留民團立高等女學校授業料徵收規則京城居留民團立京城高等女學校授業料徵收規則京城居留民團立幼稚園保育料徵收規則は之を廢止す

別表

種別	一人月額	組合員に非さる者
高等女學校本科	金二圓	金四圓
同 補習科	同	同
小學校尋常科	四十錢	八十錢
同 高等科	同	同
同 幼稚園	一圓五十錢	同

京城學校組合告示第三十四號 大正四年度京城學校組合歲出追加豫算左の通り更正の件組合會の議決を經たり

大正四年九月十六日 京城學校組合管理者 朝鮮總督府府尹 金谷

大正四年度京城學校組合歲出更正豫算

經常部 第一款 第二項 備品費 金九千九百六十五圓
第十二款 豫備費 金四千八百四十八圓
第十款 寄附及補助 金二千六百十八圓
臨時部 第一項 補助金 四萬六千六百二十八圓

京城本町二丁目 家庭博覽會

瓢の旗風 (555)

番衆浪人　筒井年峰畫

詭策（廿二）

一如何にもさう云はれゝば、齋藤玄蕃頭の話は、頗る道理に聞きなされる。

『右京！其方は、確とこれ承知の致いたかッ。』と信孝は不興氣に云つた。

『大事の前の、小事と存じ申して……』

『何が小事ぢやッ。』と息巻いて玄蕃『あの御を渡せば、當方が此上なき弱味ぢや。右京が承諾の致いたとて、それ錢持のせうに何あらう！』

『これ、また玄蕃殿御せとも覺えず……』と右京亮は氣色ばむで。

『我等御使者として、出向きし上は、その錢持は爲り申すまい。まつたよしや此右京の面を潰されて、錢持のさつしやるとあらば、和平は破るゝ。それ御承知か、但し、然ある時は、此右京は自滅のする。』今の右京の立場としては、正に然あるべき事で、飛龍丸の事を承引したは、極權にもせよ、何にもせよ、錢持は取り直さず開戰、其上に右京の面も立たぬ。

『まゝ、兩人共控へられい……』と蜂信波が調停して、兎角は無念ながら、一先づ先方の條件を入れること然るべしと評議一決、こゝに三法師が弟御飛龍丸は、秀吉の陣へ送り届けられた。

動けば動くだけ、跪けば跪くだけ、計らう勝家は常に秀吉に取られて、計らうとして謀らるゝ、我から好んで死地亡地へ陷ると云ふ、實に是非も無き運命を繰返して居る間に、長良の川の氷も解けて、名も無き山々にも假鶯鳴き、鳥の囀りも春らしう聞こえて來た。

『春に爲つた……』

『もう、北國の道も通じようぞ……』

『いつまで、腕を撫つて待つて居べい……』

『疾う〳〵御旗の出すば……』

一我等は自體何の爲……』其以前に召し抱へられたる多くの浪人共、何がさて合戰が商賣、戰場に出ですは稼も増えず、勝てば功名、敗色と見れば、其儘後を晦まして、また何處へか主取をせうと云ふ野武士連中が來は野となれ雖目前の功名をと云ふので大に開戰を唱へた。もとより、岐阜城中も、一時爲つて和平の儀を結んだのであるから、直ちに其儀を用ゐ、信孝は織田源八郎信房を使者として北の庄へ遣はされた。

信房は木芽峠の嶮を越えて、まだ解けやらぬ殘雪を蹴散らして北の庄の城に入つた。

『ナニ、神戸殿より、ム、〳〵、織田八郎殿が、それは〳〵、これへ直ちに』と信房を座に招した。

『此方も待ちに待つた勝家直ちに信房を座に招した。

『修理殿、信房は、座に入つてホク〳〵もの……』

『ホヽ、時とはナ！』

『はて知れたこと……』と身を乘出して。

『早、解けす申すでナ。』

『三七殿筑前との和平は、確と眞實では御座らぬナ』

『おんでもの……』と搦寄つて。

『筑前が巧く手に乘つたぢや。就いては、愈々猿奴を退治する時が來申したよ。』

『オゝ。』と勝家は點頭いて聲を低めた。

◎平南江東郡の鍾乳洞

聯隊附で會つて直ぐに別れた土地調査局の山田理兵衛氏に今朝偶然江東邑内で邂逅しました。此れも邑内から約二十町の江東面漆洞に鍾乳洞のあるを聞きました（まだ他にも其れらしいのがあるさうです）日本では山口縣外個所に絶無なのがあるさうですが朝鮮それも此處から僅か十里の江東郡内に鍾乳洞のあるとなぞは偶〻に聞いたともなくツイ往つて見たくなつたので山田氏の厚意による案内の鮮人に尾いて夕飼前の散歩旁〻見物に往つて來ました（九月廿日夜江東邑にて芳山）

◎宿を出たのは彼是最う五時頃でした。邑内を離れて畦路傳ひ十町程往くと、秋草のたわゝに咲き亂れて居る徑は段々山になります。それを更に十町餘り登ると、禿山の中腹に縱一尺餘り、幅二尺餘りの富を疊んだ穴が下方に深う通じて居ます。夕暮れの薄い光線の射す七八尺の所迄は朧に見ることが出來るが、其所から下は唯真つ暗で何物をも見ることは出來ませぬ

◎此邊りには往々虎が徘徊したのなぞするので、萬一虎なぞいふ猛獸が潜むで居てはといふ遠慮からでせう銃を用意して憲兵さんは這入つたことも言ふし、又此の洞穴の裡には魑魅が捿つて居るので、昔から這入つたものに再び出て來た例しはなく、唯綱で身體を縛り強力の者の援けによつて、漸く出て來たものが過にあつた位だと附近の朝鮮人は言ひ離して居るさうです。けれども蝙蝠位は、無論捿つて居るでせうが、此の洞口からでは這入れたものでないと信じたので、シャツとズボン下とになつて、腹這ひながら足から先きに穴を降りかけました。

◎入口から十二三尺の間は頭を擡げることも出來ぬ位窮屈でしたが、それでも降りて往くに隨つて多少進退が自由になつた代り、片手には蠟燭を持ち、片手で淺い〳〵岩の襞に指を抓けて、暗中に足場を探り〳〵降りて往くのですから、ともすると奈落の底に辷り墮ちさうな危險があるので、掌と腕とそして膝と踵に冷たい泥の滑める心地の惡いとなぞを考へる頭に餘裕はなく、その危い〳〵傾斜約三十度位の泥に塗られた平めな岩面を約三十間程も降りると、太きな岩はゴロ〳〵して居るがそれでも直立することが出來たので、始めて喘と太い呼吸をしました。そして頭の上の方を仰ぐと、入口が遙かにボウと薄紫色に煙つて、重く冷たい空氣が蒸々と全身に迫つて來るのは例へやうもない一種の心細さを泌々と感じさせました。（未完）

讀者の領分

▲鐵道特設館の外側に説明附きにて陳列しある諸金物類中丁零錢ホー一ンロン印のものに鐵塊アルミニユーム塊錫塊と説明を附加へ居り候處右は相違致居候はずや（七明生）

▲御近の人爲雜青の注告らしきハガキ一應御尤の樣に聞ゆれど姓名も名乘らずしての蔭口は餘り卑屈ならずや姓名を明らかにし直接來談ありたし（ヘボ生）

▲私は過日正午頃朝鮮銀行前を練兵場迄行く電車に乘込んで居りました丁度朝鮮銀行前で二十四五位の子抱きの内地婦人が乘りましたが滿員の爲めに婦人は昇降口に立て居りました私は席を譲らうと思つて居りますと電車の中に乘て居りましたから氣の毒な何とか致さうとばかり考へて居りますと四十前後の勞働者風の鮮人が自分の坐席を立つて其處へ婦人を坐らせました也來公徳心の乏しいとの定評ある鮮人としては實に奇特な者ではありませんか（ワイ、エム生）

▲鐵道大競走選手兩君の爲貞に據る勝負思見中逃候而つて右神崎氏は見受くる處好個の運動家にして競爭は最得意とする處ならんも性質正直にして猪突くことなしとせず普通の運動競走な功を急ぐの嫌あり時として失敗を招らすして頓智世才を要する本競走には缺くる處あり殊に其の成功の熱望と一方憂慮の心情顏面に現はる敗？而つて左別府氏運動家にあらざるも世才に長じ好く言たる事に當り臨機應變拔ケ目なき仁ならん既に成算ありて胸中自ら餘猶あるものゝ如く喜色滿面に溢る勝ならん？（京城愛讀者）

▲鐵道大競走は甲の投票は略時間の計算も立てますが乙の投票選手の勝ち負けは孰れが勝つやら負るやら是れは投票者も實際的だらうと思ふ處で私は今回選者の姓名判斷して見た所南行選手別府八百吉さんは名前が八百よしと吉てあるから萬事物事順行にあるらしいから別府さん貴下を僕は投票しますから要領能く行つて下さい更に角御健康を祈ます（南行味方）

▲鐵道競走者は自轉車を利用し得るや否や（凸きち）▲無論自轉車は駄目です（係）

大阪株式特電

十七日後場

合同新	九月限	二一〇、二〇
鐘淵新	十月限	二一一、〇〇
同 株	十一月限	二一二、五〇
東洋新	十二月限	二一三、六〇
大阪商船	一月限	二一四、六〇
長期	二月限	二一六、〇〇

下關期米

十七日後場（各地賦▲新聞合格開放）

▲後場保合ふ

▲新動機俟ち

平均	一 節 九圓 二錢
値	二 節 九圓 二錢
段	三 節 九圓 二錢
	四 節 九圓 三錢

美人

曲線美＝大膽撮影寫眞＝料共六枚四十八錢送＝特價切手一九五錢＝美人泉堂

堺〇大阪中之島二

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

白檀油代用藥

コノサルビン

優秀卓絶　價格低廉

文獻及見本請求次第進呈

發賣元　大阪市外中津町　三友製藥合名會社

大阪道修町　武田長兵衛

東京本町　小西新兵衛

男子用サック

定價　特製等品一打金八拾錢　上等品一打金五拾錢　並等品一打金卅五錢

送料各八錢

東京市日本橋區米澤町二丁目角　吉田萬珠堂　振替口座東京二三〇六番

月やく

月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法を御知らせ致します

東京神田錦町三ノ一九　境田けい子

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行

- 高砂丸　九月十九日　正午出帆
- 三河丸　十月　日　正午出帆
- 相模丸　九月廿八日　正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三一三番

京城南大門前 京城荷客取次店　松原運送店（電話長二一七〇）

- 全羅丸　九月廿五日
- 京畿丸　△十月五日
- 黄海丸　△九月十九日
- 咸鏡丸　九月廿九日　釜山發（門司より釜山各港寄港城津清津雄基行　但△印は元山釜山間直航する）
- 昌平丸　九月　廿日　元山發
- 富城丸　九月　廿日　元山發（元山より各港經由雄基行）
- 竹清丸　九月二十日　元山發
- 忠清丸　九月　日　元山發（城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司）
- 永興丸　毎月廿八回　元山發（北久味、五里浦行又は長崎延長）
- 嘉島丸　九月十八日　釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行）
- 江陵丸・襄陽丸　毎日　（釜山浦項）發
- 三浦丸　九月十八日　釜山發（長生浦、方魚津寄港）
- 海州丸・濟州丸・巨濟丸・慶寶丸　毎日　釜山發（長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行／各港經由麗水行三日目一回木浦行）
- 順天丸　三日目毎　木浦發（各港經由麗水行麗水より釜山行に接續）
- 慶興丸　九月　日　木浦發（各港經由濟州島行（月八回））
- 公州丸　九月　日　木浦發（南多島海列島行（月三回））
- 宗信丸　九月廿二日　仁川發（海州他各港經由鎭南浦行）
- 江原丸　九月二十日　仁川發（青島直行、大連、芝罘行）
- 麗水丸・初鷹丸　九月二十四日　仁川發（各港經由木浦行）

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

- 秀吉丸　九月廿二日　午後五時出帆
- 君が代丸　九月　日　後四時出帆
- 神代丸　九月　日　後四時出帆
- 大有丸　九月十八日　午後五時出帆

○群山、大阪行

- 土海丸　九月十八日　午後四時出帆

仁川海岸通三丁目 電話五十九番　高杉回漕部

- 全州丸・南陽丸　毎日午前　仁川發（江華島、桐苗島、海州行）
- 平安丸　九月廿七日　群山發／九月廿二日　若松發（往航 大黑山、木浦、群山行　復航 門司、木浦、群山、若松行）

汽船釜山出帆廣告

- ○門司、神戸、大阪行　小倉丸　九月　日　後五時出帆
- ○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　九月　日　後十時出帆
- ○門司、神戸、大阪行　立神丸　九月　日　後五時出帆
- ○元山、清津、浦鹽行　立神丸　九月　日　後十時出帆
- ○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　九月　日　後九時出帆
- ○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　九月　日　後六時出帆
- ○佐須奈、巌原、壹岐、博多行　天貝丸　毎月三日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行（割引を以て連絡切符發賣仕候）

○外航所屬航路（遠洋航路を除く）間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行

- 津州丸　九月廿六日
- ×溫州丸　九月三十日
- ×漢城丸　九月廿二日　午後五時出帆

○木浦、釜山、長崎行（▲は巌原廻の事に寄港）

- ×安東丸　九月廿四日
- ▲天智丸　九月十九日　午後二時出帆

○鎭南浦、大連行

- ×安東丸　九月廿日
- ×天智丸　九月廿八日　午後二時出帆

○鎭南浦關門神戸大阪行

- 漳州丸　九月　日　正午五時出帆

○群山、釜山、横濱行

- △須磨丸　九月十八日　午後四時出帆
- △チヨイサン丸　九月廿八日

○大連直行

- △千珠丸　十月三日　正午出帆
- チヨイサン丸　九月廿三日

○元山、清津、浦潮行（釜山出帆）（▲は城津西湖津に寄港）

- 宮島丸　九月廿七日
- 神宮丸　九月　日
- ▲城津丸　九月廿二日　午後九時出帆

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）

- 基隆丸　九月廿三日
- 新高丸　十月十一日　午前四時出帆

御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運賃並切符發賣仕候　○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船下さい　○×印は一等客御斷り　△印は貨客御斷り

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二二〇番五五〇番

京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行　第十共同丸　九月　日後七時入港　九月　日前九時出港（芝罘大連間定期船に接續）

城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　第二阪鶴丸　九月　日後九時入港　九月　日出港

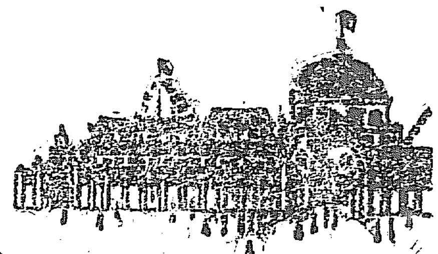
西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸　九月二十日　前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社

仁川代理店　山下回漕部　本町一丁目（電話一〇八番）

元山代理店　田口回漕部（電話二四四七番）

京城取次店　河村運送店　南大門通（電話二六八、二〇七）



始政五年記念 朝鮮物産 共進會と觀覽券の無料提供！

ライオン齒磨本舖は愛用者優待の目的を以て、

ライオン齒磨大袋貳個お買求の方へ

觀覽券一枚宛を進呈致します。

○ライオン齒磨は凡ゆる御家庭に是非なくてならぬ必需品であります

○共進會は是非一度御覽になる事が御利益であります

御注意

▲ライオン齒磨大袋貳個を壹包にし其れに共進會觀覽券壹枚宛を添へ年半の値段で賣出しました……

▲何處にも賣つて居ります……

▲此觀覽券は共進會開期中有効ですが

▲觀覽券附の壹に限がありますから

▲大急ぎお買求めにならないと

▲賣切れて了ひます……